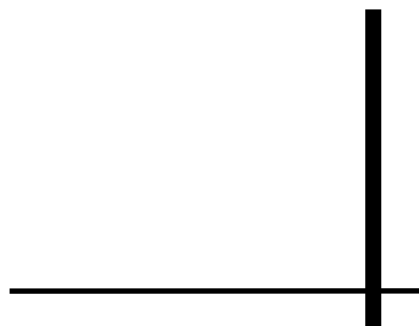


令和5年度 福島市地域学校協働本部事業  
実施報告書

福島市教育委員会

令和6年3月



## 目 次

NO	項 目	ページ
1	実施状況等	1
2	事業の成果等	2
3	学校支援ボランティアの活用、活動状況	3
4	学校支援ボランティアの事業評価	3
5	考 察	5
資 料：各学習センター実施報告書(兼)事業評価		6
	① 中央学習センター	7
	② 三河台学習センター	9
	③ 渡利学習センター	11
	④ 杉妻学習センター	13
	⑤ 蓬萊学習センター	15
	⑥ 清水学習センター	17
	⑦ もちずり学習センター	19
	⑧ 北信学習センター	21
	⑨ 吉井田学習センター	23
	⑩ 西学習センター	25
	⑪ 信陵学習センター	27
	⑫ 飯坂学習センター	29
	⑬ 松川学習センター	31
	⑭ 信夫学習センター	33
	⑮ 吾妻学習センター	35
	⑯ 飯野学習センター	37

# 1 実施状況等(学校関係者評価アンケートより、小学校43校、中学校・支援学校20校、回収率100%)

## (1) 学校支援活動

### ① 小学校

	学習センターのコーディネートで実施	学校独自で実施
実施校数	3校	10校
実施日数	350日	784日

〈支援を受けた教科、活動等〉

教科等	国語	社会	算数	生活	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	総合
校数	9	15	4	28	9	6	5	17	5	3	44

教科等	道徳	学活	児童会	学校行事	クラブ活動	部活動	読み聞かせ	図書関係	環境整備	安全確保	(その他)
校数	11	4	2	7	2	2	20	14	4	7	12

(その他) 職員研修「教材開発(福島市・第3地区の歴史)、学級支援、日常学校生活支援、支援を要する児童への対応、防災教育、学級懇談時の児童預かり、学生ボランティアによる学習支援、黒板アート(高校生)、生花

### ② 中学校、支援学校

	学習センターのコーディネートで実施	学校独自で実施
実施校数	4校	14校
実施日数	16日	106日

〈支援を受けた教科、活動等〉

教科等	国語	社会	数学	生活	理科	音楽	美術	技術・家庭	保体	外国語	総合
校数	0	1	0		0	1	0	0	0	1	9

教科等	道徳	学活	生徒会	学校行事	クラブ活動	部活動	読み聞かせ	図書関係	環境整備	安全確保	(その他)
校数	1	0	0	0	0	2	1	1	2	2	2

(その他) 学校設立40周年記念事業、しみずキッチン、不登校支援教室の絵画やキーホルダー制作

## (2) 地域学校協働活動

### ① 小学校

	学習センターのコーディネートで実施	学校独自で実施
実施校数	10校	12校
実施日数	71日	151日

〈活動の内容〉

教科等	地域課題解決的学習	地域貢献活動	地域伝統行事等への参加	地域と学校の協働の学び	(その他)
校数	18	15	6	11	5

(その他) 学習センター主催の地区文化祭に児童の作品を出品、人権教育、職場体験

② 中学校、支援学校

	学習センターのコーディネートで実施		学校独自で実施	
実施校数	7校	3校	6校	
実施日数	52日		56日	

〈活動の内容〉

教科等	地域課題解決的学習	地域貢献活動	地域伝統行事等への参加	地域と学校の協働の学び	(その他)
校数	4	7	6	4	8
(その他)	キャリア学習(地域の働く人に話を聞く)、職場体験活動の体験事業所の紹介、あらかわ・ふるさとの川ウォーキングにボランティア活動として参加する祭、活動内容についての指導、教育講演会ゲストティーチャー、今後の義務教育における地域との関りを考える。				

2 事業の成果等(学習センターのコーディネートにより実施した学校の回答)

(1) 事業の有効性:本事業を活用することで授業や活動の内容が充実しましたか。

〈小学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	100	0	0	0

〈中学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	91.7	8.3	0	0

(2) 児童生徒の変容:地域人材の活用によって児童生徒に学習意欲の向上が見られましたか。

〈小学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	100	0	0	0

〈中学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	75	8.3	0	16.7

(3) 教職員への周知:会議等において教職員に対し本事業の趣旨、内容、方法が周知されましたか。

〈小学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	83.3	16.7	0	0

〈中学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	66.7	25	8.3	0

(4) 教職員の意識:教職員に地域の教育力を活用することへの意識が高まりましたか。

〈小学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	90	10	0	0

〈中学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	75	16.7	0	8.3

(5) 負担軽減:本事業の活用によって教職員の負担軽減が図られましたか。

〈小学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	73.3	26.7	0	0

〈中学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	58.3	16.7	16.7	8.3

(6) 支援・連携協働:支援・連携協働活動の内容は学校の希望したものとマッチングしましたか。

〈小学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	100	0	0	0

〈中学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	91.7	0	0	8.3

(7) 学習センターとの連携:地域人材の活用について学習センターとの連携が図られましたか。

〈小学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	90	10	0	0

〈中学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	58.3	33.3	0	8.3

(8) 地域との連携:地域の行事や学校教育活動で地域との連携が図られ信頼関係が築かれましたか。

〈小学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	86.7	13.3	0	0

〈中学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	91.7	8.3	0	0

(9) 地域連携担当教職員:地域との窓口という役割、機能が発揮されましたか。

〈小学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	80	20	0	0

〈中学校〉	十分 ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	50	50	0	0

### 3 学校支援ボランティアの活用、活動状況(学習センター実施報告書より)

活動形態	学校支援活動		地域学校協働活動		合計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
学習センター のコーディネーター	462	1047	326	660	788	1707
学校独自	1313	4404	980	1645	2293	6049
合計	1775	5451	1306	2305	3081	7756

### 4 学校支援ボランティアの事業評価(学校支援ボランティアアンケートより)

○ アンケート依頼者等:各学習センターより97名抽出→次の78名分回収(回収率:80.4%)

性別	男性	女性
人数	20	58

年代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数	1	2	3	23	32	17

(1) 充実感:ボランティアの活動にあなたの知識・経験がいかされましたか。

	十分、ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	82.1	6.4	1.3	10.3

(2) 自己有用感:ボランティアの活動内容は子ども達のためになっていると感じましたか。

	十分、ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	80.8	3.8	0	15.4

(3) 学校に対するイメージ:ボランティア活動を通し子ども達とふれあい、学校への親しみを感じましたか。

	十分、ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	89.5	6.6	0	3.9

(4) 学校教育への理解:ボランティアの活動を通し、授業内容や子ども達の学ぶ様子などがわかりましたか。

	十分、ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	83.1	3.9	1.3	11.7

(5) 地域の教育力:地域の方々はいろいろな場面で子ども達に対して関わっていると思われませんか。

	十分、ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	51.4	24.3	4.1	20.3

(6) ボランティアに対する意欲:これからもボランティアの活動を続けたいですか。

	はい	あまり	まったく	わからない
%	89.7	3.8	0	5

(7) 運営方法:事前の打ち合わせ等は、行われましたか。

	十分、ほぼ十分	あまり	まったく	わからない
%	69.7	23.7	2.6	3.9

## (8) 意見、要望等(事業の成果と今後の課題等を中心に抜粋)

- 学習センターの担当の方がきめ細かく連絡などして下さるので、いつもスムーズに参加できて助かります。
- 学校の先生方大変頑張ってますので私達もやりがいがあります。又、生徒さんも、初めて触る楽器にとても感心を持ちました。これからも色々な楽器をためしてみるのも良いと思いました。
- 地域学習の担当として長い間関わらせていただいております。自分としては、事前打ち合わせを行いながら、先生を大切に、子どもさん達を大切に入らせていただいております。子どもさん達に「地域の学習」を計画して下さる事は、地域の者として大変有難く思い出来る事があれば協力させて頂く考えです。但し学校支援ボランティアが入る事で先生方の心の負担になってはいけないと常に心しております。ボランティアが先行するのではなく、学校からどこに支援が必要かの要請があって入れれば良いのか等とも考え、次年度計画への見直しする面も考慮しながら先日、学校との打ち合わせをいたしました。先生方のも子どもさん達たち快く迎えていただき、大変有意義な時間をいただいております事感謝いたします。
- 今年度は、始めの学校との話し合いで、不安なことが解消され気持ちが楽になりました。また、回を重ねる毎に、子ども達も私たちに慣れて、声を掛けてくれるようになったので、ボランティアに入るのが楽しくなりました。見守りだけでなく、ミシンのかけ方や勉強など、これで大丈夫かな？と思うこともありますが、相談すると、すぐに先生がサポートして下さるので、その対応にも、いつも感謝しています。来年度も、このような学校との関係や、一緒にボランティアをして下さる方がいらっしやれば続けてみたいと思います。
- 窓ガラス拭き、雑巾の洗ひ方、絞り方等教材にはない学習であった様に思う、ボランティアならではの交流に協力したいです。
- 子どもさん達の笑顔、エネルギーにとても感謝しております。私の場合はミシンボランティアですがボランティア仲間と共に年々、私達も技術・コツが上達しているように思っています。楽しくボランティアさせていただいております。
- 田おこし、田植え、稲刈りのお手伝いをし、収穫祭に呼ばれて、毎年子供達の一生懸命さに感動しています。
- 子供達が触った事のない楽器に触れて楽しい授業ができた事が大変よかったですと思いました。今後とも又日本文化の三味線・太鼓・民謡など伝えられる事が大切な事だと感じました。
- 活動を通じて、子供達の成長を見守ることができ、楽しみな1年でありました。
- 地域のお祭りについて、子供たちへの講話授業に参加させて頂きました。授業を通じて、子供たちのお祭りへの興味を更に深める事ができた様に感じました。
- 学校側の不登校の子供が大人になった時に小学校で生活した思い出を作ってあげたいという趣旨に賛同して、不登校支援を始めて、不安もありましたが、子供のペースに合わせて第三者のおばちゃんとして、少しずつ活動が出来ているように思います。
- 最初の頃はボランティアへの意欲もありつつ、私に務まるだろうか…と不安な気持ちもありました。しかし、説明のための事前打ち合わせもありましたし、経験者のお母さんの方から詳しく教えて頂けたので、困ったりする場面もほぼなく活動出来ました。ここ数年はコロナ禍ということもあり、学校に行く回数が減ったように感じていたので、活動を通じて学校に足を運ぶ機会が増えたのが嬉しく思いました。子どもたちとお話したり学ぶ姿を見られて嬉しかったです。それと他のお母さんたちとのつながりができ、お話しできる時間をもてたのも嬉しい収穫でした。図書ボランティアの際は図書館の職員の方々に本の場所などをお尋ねし、いつも丁寧・親切にご対応頂けたことが心に残っています。ありがとうございました。
- 昨年の11月から学校支援ボランティアとして授業中の見守りとして活動している。この活動を通して学校外での子ども達に対して親しみを感じるようになった。そして学校・家庭・地域の連携の大切さを改めて感じている。
- 子どもたちと関わることで私自身もとても勉強になりますし、元気をいただいております。子どもたちの成長を見ることがとてもうれしいです。どれだけお役に立てるか分かりませんが今後もお手伝い出来る事があればボランティアを続けていきたいと思っています。
- ミシンの調整する時間がなく、少しメンテナンス時間を頂ければ良いのではないかと思います。
- 学習センターの指導員の先生には、学校との諸連絡をはじめ、活動の準備までお手伝いいただき大変助かりました。学校との事前打ち合わせを、もう少し細かくやっていただきたいと思っています。
- 自分達以外の地域の方のボランティアの活動状況はわからないので、知る機会があればいいと思います。日程調整については改善され、直前の要請はなくなりました。事前の打ち合わせが無く、当日行ってみて、進め方など確認するので、事前の打ち合わせがあった方が良いでしょう。

- ボランティアの内容をあまり確認しないままスタートしたので、自分自身が児童や先生にとってプラスになっているのかが分からなかった。年度途中でスタートした所も原因にあったかと思う。
- 子どもたちが意欲的に学ぼうとする姿勢は常日頃の先生方の教えがあつての事と思います。事前の打ち合わせは電話だけではなく担任の先生にお会いしての打ち合わせをする方が良かったと反省しています。
- まだ2回しか経験していませんが、毎回楽しく参加させていただいています。活動内容にもよりますが、見守りや単なる交流程度以外の指導者補助の必要がある場合は事前に十分な打ち合わせか、印刷物をいただきたいと思います。当日の授業に至るまでに子ども達がどこまで理解をしているか、こちらも把握していた方が子ども達への声かけがしやすいように思いました。
- 私達絵画クラブの活動が役に立っているのか否か正直分かりません、子供達とのふれあいに、そこに居るだけという感じが正直いなめません。絵画を通じてアドバイスとかが全然果たせていません、私達でなくても良いのでは？と感じます。意欲はありますがどのように授業すべきか？どうか…迷います、もっと具体的に指示があれば対応の仕様があるのですが。
- ボランティアと学習センターのコーディネーターである生涯学習指導員の方との意見交換会のようなものを企画していただけるといいなあと思います。コーディネーターさんは学校側の考えなども把握していると思うのでボランティアの資質向上に役立てていただけるとありがたいと思います。ボランティアの活動の幅を広げることもできるのであれば…。

## 5 考察

- ① 事業の実施状況は、今年度すべての学校で学校支援活動、地域学校協働活動が実践されたことは何よりの成果である。(学習センターのコーディネート、学校独自で実施のいずれかの形態で)
- ② 実施日数も、昨年度と比較して学校支援活動で小学校が延べ620日、中学校が115日、地域学校協働活動で小学校が延12日、中学校が13日それぞれ増加している。特に、学校独自で地域と連携を図る活動を推進していることが伺える。中でも中学校の取り組みが増加している。
- ③ 学校アンケートから、総じて小学校で事業の成果が上がっていることが確認できる。小学校と中学校では指導の専門性等による結果であると考えられるが、中学生が地域行事へ参加するなど、新たな取り組みが確認できたことは今後に結び付けていきたいことである。一方、教職員へ事業を周知すること、地域人材活用の意識を高めること、教職員の負担軽減を図ることに対しては、一層の啓発、対応が必要と考えられる。特に、地域との窓口機能を発揮することについては、地域本部(学習センター)のサポートを積極的に推進していく必要があると考えられる。
- ④ 学校支援ボランティアの活用状況を見ると、学校支援活動、地域学校協働活動ともに学習センターによらず、学校独自でボランティアをコーディネートしている事例が大変多い状況である。このことから各学校が自校の実態や地域の状況を踏まえ、積極的に地域人材の活用、地域交流を進めていることが伺える。学習センターのコーディネートによる学校ボランティアの実人数は、全ボランティア登録者の約9パーセントという状況である。
- ⑤ 学校支援ボランティアのアンケートから、ボランティア活動に対し大変意欲的であり、ボランティア活動をとおして学校や子ども達を理解出来たこと、ボランティアへの意欲が高まっていることが分かる。今後より一層ボランティアの自己有用感を高めることが本事業を推進する上で大切になると考えられるので、ボランティア活用のねらいをより明らかにした人選をおこなうこと、そして事前の打ち合わせを十分に行うことが課題となり、学校での対応と共に地域本部(学習センター)としてもそのサポートを推進していく必要がある。
- ⑥ 今年度の新たな事例として、ボランティア活動の幅の広がりが挙げられる。例えば、ミシン指導の前にミシンの動作確認を行ったこと、図書ボランティアとして本の読み聞かせを行った後、子どもの生活支援にもあつたこと、教室に入ることが難しい子どもとのふれ合い、清掃や給食指導の補助等、これまでなかった事例が報告されている。今後もこのような活動が増えて行くことにより、内なる活動から外への活動を行うことにつながり、学校を核とした地域づくり、地域と共にある学校づくりが進むのではないかと思われる。

## 資料

地域本部(学習センター)実施報告書(兼)事業評価



<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No.1	中央学習センター
対象校	福島第一小学校・福島第二小学校・福島第三小学校・福島第四小学校・福島第二中学校・福島第四小学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	福島第一小学校	5/23・29 6/28	生活科 野菜作り(第2学年・12名(1クラス) 土づくり・苗植え・野菜の生育に関するアドバイス)	1	3	専門的な知識のある方から直接指導いただき、初めての野菜作りを意欲的に取り組むことができた。
2		10/12・25	6学年・1学級・ミシン実習の補助	1	2	担任の支援の手が届かない児童へ支援を行っていただき、作品を完成させることができた。
3	福島第二小学校	11/16・22	6学年・1学級・福島の歴史や文化についての探究活動への支援(福島の歴史、史跡についての説明、現地案内)	1	2	学区内を中心に明治維新頃の出来事や史跡について丁寧に説明、案内いただき、地域への理解と愛着を深めることができた。
4		2/28	6学年・1学級・道徳科(生命尊重)の学習におけるゲストティーチャー	1	1	ご自身の体験をもとに命の尊さについて説いていただく。
5	福島第三小学校	10/5・11・18・19・26	第5学年1・2組各23名 家庭科ミシン学習の補助	1	5	丁寧に補助していただき、児童一人一人に適切な支援をしていただいた。
6		1/25	地域歴史研修会講師(職員・福島市、第3地区の歴史等についての講演)	1	1	
7		12/13・1/19	第3学年・1学級・総合的な学習の時間「名人ってどんな人？」 三味線についての説明、演奏、演奏体験・名人に聞く	5	6	三味線演奏や歌、演奏の体験を通して、三味線に興味を持ち、子どもたちが抱いた疑問やこれまでの浅野さんの取組や想いを聞くことにより、名人と呼ばれる人への理解を深めることができた。
8	福島第四小学校	12/19	第6学年・1学級・家庭科 「生活を豊かにソーイング」ミシンでトートバッグづくり	1	1	トートバッグ制作において、ミシンの使い方など個別指導を充実させることにより、技能の習得と作る喜びを味わわせることができた。
9		3/4	第6学年・1学級・特別の教科:道徳出前授業「生命尊重」	1	1	白血病となった阿部様との交流を通して、自他の生命を大切にすることを育てる。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1		6/6	社会科 じょうむびお宮畑見学(第6学年 11名 1クラス) 縄文時代の遺跡についての説明	1	1	縄文時代の遺跡や出土品についての説明を受け、理解が深まった。
2		9/20	学級活動 UVストロップ作り(第1学年 15名 1クラス) 放射線を確認するUVストロップ作りの指導	1	1	放射線について指導を受け放射線についての理解が深まり、作り方の指導を受けてストロップを作ることができた。
3		10/5	生活科 図書館見学(第2学年 12名 1クラス) 公共施設としての図書館についての説明	1	1	こむこむ館の図書館ラブリについて説明を聞き、学校図書館の違いや利用の仕方について理解できた。
4	福島第一小学校	11/15	図画工作科 焼きものの飾づくり(第5学年 13名 1クラス) 土鈴づくりの指導	1	1	こむこむ館で、焼きものの作りの体験をすることができた。
5		12/8	図画工作科 焼きものの作品づくり(第6学年 11名 1クラス) 粘土を使った作品作りの授業支援	1	1	こむこむ館で、用具や技法について支援を受けて、ガラスを用いた焼きものの作りの体験をすることができた。
6		10/5	生活科 電車体験(第2学年 12名 1クラス) 公共交通機関の利用と、乗車券購入のしかたの説明	1	1	飯坂線電車の利用と自動券売機を使った乗車券の購入の仕方について説明を受け、購入・乗車することができた。
7		11/10	邦楽鑑賞 体験教室事業(第5学年・13名(1クラス) 第6学年12名(1クラス))	2	4	初心者の児童も琴の演奏に触れ、楽器演奏の楽しさや味わうことができた。
8		5~3月	1~3学年・5学級・学校図書ボランティアの皆さんによる月に2回程度の読み聞かせ	10	70	短い語を中心に読み聞かせを行っていただき、たくさんの本に親しむことができた。
9	福島第二小学校	4~3月	学校図書ボランティアの皆さんによる学校図書館の環境整備活動	10	30	季節にあった掲示物の作成や掲示、図書の展示、配架作業を行っていただき、児童にとって親しみやすい図書館経営ができた。
10		6/27・11・16	1、2学年・3学級・学級の保護者の皆さんによる学区の公園けんがく、まちたんけん時の安全見守り活動	25	25	児童と一緒に行動していただき、安全面での目回り気配りをしていただき、交差点の横断や公園遊び等で安全に活動できた。
11		11/13・14	音楽祭楽器運搬補助(全学年・楽器運搬の際のつみおろし作業)	6	8	児童・職員共に時間的に作業に当たれない時間帯の作業であったため非常に助かった。
12		10/3・5	校外学習補助(3年・地域探検活動の際の引率協力)	6	6	班別の活動であったため、各班に支援者を配置することができ、安全面から大変良かった。
13	福島第三小学校	11/20・12/8	校外学習補助(3年2組・地域探検活動の際の引率協力)	4	5	班別の活動であったため、各班に支援者を配置することができ、安全面から大変良かった。
14		11/22	道徳科授業(6年・2学級・生命尊重に係る外部講師授業)	1	2	「生命尊重」を中心に健康のありがたさについて、ご自身の体験から授業をしてくださったので、児童も実感を持って学習することができた。
15		9/22~3/15	算数科授業補助(全学年・12学級・算数科授業における進度別学習等のサポート)	12	79	毎週金曜日5校時目に行っている「くぐんタイム」のサポートで、学年によっては進度別、課題別学習を行ったので、入出が多く助かった。
16		6/1・6・12	全学年・7学級・書写「たなばた展」作品出品のための書写指導	1	3	一人一人に個別に指導いただき、技能の習得と共に意欲の向上、また、教職員の指導力の向上を図ることができた。
17		6/18	第3学年・1学級・社会科「農家の仕事」リンゴ栽培農家との交流	1	1	実際にリンゴを栽培している農家を訪ねることにより、その工夫や努力、想いや願いを知ることができた。
18		8/31	第3学年・1学級・総合的な学習の時間「名人ってどんな人？」書道名人に聞く	1	1	書道名人の丹治先生との交流を通して、これまでの取組や想いを知り、努力することの大切さを理解することができた。
19		10/27	第4学年・1学級・社会科「谷に開かれた大地に水を引く」西根堰見学	1	1	西根堰を実際に探索したり、ボランティアの方に説明を聞いたりすることにより、苦労や工夫を学ぶことができた。
20	福島第四小学校	11/6	第4学年・1学級・総合的な学習の時間「信天山」お寺の和尚さんに聞く	1	1	信天山の歴史や信天山に由来する様々なことを聞くことにより、身近にある信天山への関心を高めることができた。
21		11/16	第5・6学年・2学級・理科・総合的な学習の時間「防災教育出前授業」	1	1	火山噴火の仕組みや被害、信天山に慰霊碑があることを知ることを通して、災害対策や自分の身を守るための大切さを学んだ。
22		12/5・6・8	全学年・7学級・書写「書きぞめ展」作品出品のための書写指導	1	3	一人一人に個別に指導いただき、技能の習得と共に意欲の向上、また、教職員の指導力の向上を図ることができた。
23		1/22	第4~6学年・ものづくりクラブ「ペン立てづくり」金属加工	1	1	クラブ活動において、金属加工について学び、ペン立てを作る活動を通して、ものづくりへの興味・関心を高めることができた。
24		1/29	第5学年・1学級・社会科「情報化した社会とわたしたちの生活」情報を発信する人に聞く	1	1	情報を発信する立場での工夫や努力、受取側での気を付けることなどを学び、自分たちで情報発信をする見直しをもつことができた。
25		6/27~29	2学年 職場体験活動 26事業所 生徒60名参加	43	98	4年ぶりの職場体験を行うことができた。今年度は三日間とコロナ前よりは短くなったが、体験できたことが大変良かった。
26		11/14・15	1学年 ときめき仕事体験 様々な職業紹介と体験活動 8講座 生徒50名参加	16	16	専門学校の教師を呼び、仕事の一部を実体験することができた。次年度の職場体験学習に結びつけることができた。
27	福島第二中学校	5/25	ふくしま市政出前講座(2学年)幼稚園保育課から講師を招き、幼児との接し方を学んだ	1	1	2学期に行った東浜保育所訪問に向け、接し方を学ぶことができた。
28		6/26	民報出前講座(2年)新聞の構成や記事の書き方を学んだ	1	1	新聞のまとめ方などを学び、職場体験記録を作成する際に役立った。

29		7/10・9/5	民報出前講座(1年)新聞の構成や記事の書き方を学んだ	1	2	新聞のまとめ方などを学び、職場体験記録を作成する際に役立った。
30		9/27	消費生活センターから講師を招き、契約の基礎知識や消費者トラブルについて学んだ(3年)	2	2	将来巻き込まれ、トラブルになる事例を教えていただき、大変参考になった。
31	福島第四中学校	4/17	17学級、学習支援室、学習支援	3	55	生徒の学習意欲の向上と環境整備促進がなされている。

## 2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	福島第四小学校	11/3~5	全学年・7学級「中央地区文化祭」への作品出品			子どもたちの作品を展示していただき、地区の文化祭へ間接的に参加、協力することができた。
2	福島第二中学校	11/1	3年生希望生徒14名による 中央学習センターで行う市民文化祭の展示準備			参加生徒は積極的に協力への達成感を感じることができた。

## 2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	福島第一小学校	5/22	生活科 野菜種購入(第2学年 12名 1クラス) 野菜種購入体験・野菜選択アドバイス	2	4	野菜種について、専門店の方からアドバイスをもらいつつ、買い物体験をすることができた。
2		6/6	社会科「じょうもびお宮福見学(第6学年 11名 1クラス) 縄文時代の遺跡についての説明	1	1	縄文時代の遺跡や出土品についての説明を受け、理解が深まった。
3		6/20	生活科「パン屋見学(第2学年 12名 1クラス) パン屋の仕事についての説明	1	1	地域にある店を見学し、そこの仕事について説明を受け、理解が深まった。
4		6/20	総合的な学習「職場体験(第6学年 12名 1クラス) 地域の事業所や店での職業体験の指導	5	5	地域にある事業所や店舗で、それぞれの仕事を見学したり体験したりすることで、勤労観・職業観が高まった。
5		7/13	生活科「ホテル見学(第2学年 12名 1クラス) ホテルの施設や仕事についての説明	1	1	地域にあるホテルを見学し、そこの仕事について説明を受け、理解が深まった。
6		9/20	総合的な学習「職場体験(第5学年 13名 1クラス) 地域の事業所や店での職業体験の指導	5	5	地域にある事業所や店舗で、それぞれの仕事を見学したり体験したりすることで、職業人の意識が高まった。
7	福島第二小学校	4/11・11/10	1~6学年・12学級・子どもの安全確保協議会及び第二地区青少年健全育成推進会の皆さんに交通教室においていただき、危険箇所についての講話や通学路の歩き方についての実地訓練	21	38	通学路における危険箇所の把握や交差点での横断の仕方、歩道の歩き方を具体的に教えていただき、児童の安全への意識が高まった。
8		7/3	1・2学年・3学級・第二地区青少年健全育成推進会の皆さんと一緒に花苗の定植活動	16	16	花苗を植えたプランターを学区の公共施設に届け、地域の環境美化を推進することができた。
9		7~12月	1~6学年・12学級・市立図書館所属のボランティアの皆さんによる、各学年ごと1時間、国語の時間における読み聞かせ	4	18	パネルシアターなど、様々な形の読み聞かせを行っていただき、本に親しみやすさが増していった。
10	福島第三小学校	11/6~24	落ち葉掃き補助(4~6年・6学級・学校周辺歩道の落ち葉はきの際の援助及び見守り活動)	7	12	児童にとっては、いつもの先生だけではなく地域の方と一緒に作業することにより、より一層意欲が増した。
11	福島第四小学校	6/22	第4~6学年・保健福祉委員会・「人権の花運動」講話と花の苗植え	2	2	人権に関する講話や取組を聞き、また、人権の花の苗植え活動を通して、人権を大切にすることを育てることができた。
12	福島第二中学校	11/1	避難訓練として洪水時避難所の中央学習センターまでの経路を実際にあるって確認した。(地域施設の利用)3学年			実際に歩くことにより道路や周辺状況を確認できたとともに、避難所となる中央学習センターの場所を確認することができた。
13		11/7	避難訓練として洪水時避難所の中央学習センターまでの経路を実際にあるって確認した。(地域施設の利用)2学年			実際に歩くことにより道路や周辺状況を確認できたとともに、避難所となる中央学習センターの場所を確認することができた。
14	福島第四中学校	11/11	全校生・著名人の講演会、ミニコンサート等	20	20	東日本大震災追悼と、未来に向けて夢や希望をもちよりよい生き方を希求しようとする態度を涵養することができた。

## 3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	2
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)が適切であったか。	4

## 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○学校支援ボランティアが教員向けに地域学習の研修会を行うことにより、ここで知り得た情報をもとに実際に授業での総合学習に地域学習を取り入れ、座学・フィールドワークを実施したり、次年度の授業計画立案の見通しを持たせることができた。  
○学校支援ボランティア自身が持っている知識・技能を授業に活かしたり、児童と触れ合う中で、十分満足感が得られる活動ができたことがよかった。

●登録している学校支援ボランティアのほとんどが高齢のため、比較的若い世代の確保が必要であり課題でもある。  
●個別(ミシン・調理等)対応の支援が必要なものについては、授業効果を上げるためにも複数名のボランティアを確保しておく必要がある。  
※毎年、支援要請が多いものや個別対応など多くのボランティア支援が必要なものについては、それらを中心に多くのボランティアを確保するために募集広報の仕方を工夫する。

## 5 活動、支援の様子



福島県庁周辺史跡巡り6年総合(福島第二小学校)



名人ってどんな人「三味線名人に聞く」3年総合(福島第四小学校)

<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No. 2	三河台学習センター
対象校	三河台小学校、岳陽中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	三河台小学校	1月16日	「裁縫(ミシン)」 ミシン学習の補助(5年・2・ミシンの使い方を教えていただく)	1	1	5年生の家庭科で、ミシンを使った学習の補助をしていただいた。支援をいただいたことで児童に必要な支援を行うことができた。
2	三河台小学校	1月17日	「裁縫(ミシン)」 ミシン学習の補助(5年・2・ミシンの使い方を教えていただく)	1	1	5年生の家庭科で、ミシンを使った学習の補助をしていただいた。支援をいただいたことで児童に必要な支援を行うことができた。
3	三河台小学校	1月24日	「百人一首」(4年・2・百人一首の基礎を学び一緒に楽しむ)	2	2	「百人一首」かるたのルールやごつについて教えていただいた後、各学級で源平戦を行った。子どもたちは「百人一首」に興味をもち、楽しく活動に取り組んだ。
4	三河台小学校	1月16日	「だんごさし」地域の伝統行事に親しむ(3年・3・だんごさしの伝統を伝えていただく)	6	6	昔から伝わる行事「だんごさし」を行った。子どもたちは願い事を書いた短冊とともに、みずきの木に団子をさし、地域の伝統行事に触れることができた。
5	三河台小学校	3月中	町探検(2年・2・町中を歩くのを補助していただく)	10	10	交通安全母の会
6	三河台小学校	2月末	昔あそび(1年・2・昔の遊びを教えてもらい一緒に遊んでいただく)	5	5	野田町長寿会

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	三河台小学校	8月30日	水質日本一に関する荒川協議会の取り組みについて(4年・3・講話)	1	1	荒川協議会の取り組みについて知ることができた。
2	三河台小学校	10月11日	荒川堰堤見学「洪水を防ぐ」(4年・3・荒川の洪水を防ぐ工夫について、現地での説明)	3	3	荒川の洪水を防ぐ工夫について、現地での説明を聞き見学した。
3	三河台小学校	10月29日	パックテスト、ごみ拾い(4年・3・荒川の水質検査、流域のごみ拾い)	5	5	荒川の水質検査、流域のごみ拾いを行った。
4	三河台小学校	8月30日	生命誕生のふしぎ(5年・2・人の誕生についての講話と体験)	1	1	生命誕生尾メカニズムを学び、赤ちゃんの人形やスーツで妊婦、赤ちゃん抱っここの疑似体験をした。
5	三河台小学校	7月6日	ふくしま餃子の会会長さんに聞こう(5年・2・餃子の会会長の講話)	1	1	円盤餃子の歴史、アピールポイント、作り方などについて、会長さんに直接質問して教えていただいた。
6	三河台小学校	9月21日	オリジナル円盤餃子をつくろう(5年・2・餃子作りの補助)	3	3	グループごとに考案したオリジナルレシピで円盤餃子を作って試食した。
7	三河台小学校	9月26日	円盤餃子を作ろう(5年・2・オリジナル円盤餃子の作り方を補助していただく)	2	2	ベーシックな円盤餃子の作り方、上手に焼くコツなどを教わり、試食した。
8	三河台小学校	9月22日	多文化共生講座(概論)(6年・3・多文化共生の意味について教えていただく)	1	1	多文化共生について知見を広げ、各国の教育等を体験し、外国について学びを深めた。
9	三河台小学校	10月12日	多文化共生講座(オーストラリア)(6年・3・オーストラリアの文化について教えていただく)	1	1	多文化共生について知見を広げオーストラリアの教育等を体験し、外国について学びを深めた。
10	三河台小学校	10月19日	多文化共生講座(ベトナム)(6年・3・ベトナムの文化について教えていただく)	1	1	多文化共生について知見を広げ、ベトナムの教育等を体験し、外国について学びを深めた。
11	三河台小学校	12月13日	JICA出前授業(スリランカ)(6年・3・スリランカの文化について教えていただく)	1	1	多文化共生について知見を広げ、スリランカの教育等を体験し、外国について学びを深めた。
12	三河台小学校	1月19日	国際課出前授業(ドイツ・中国・カナダ)(6年・3・ドイツ・中国・カナダの文化について教えていただく)	3	3	多文化共生について知見を広げ、ドイツ・中国・カナダの教育等の違いを体験し、外国について学びを深めた。
13	岳陽中学校	12月19日	書き初め授業(中1年)	1	1	行書の基本的な筆遣いについて理解することが出来た。
14	岳陽中学校	12月13日	社会人に学ぶ会(中1年)	1	1	車いすバスケットの指導者の話を聞き仕事のやりがいなど職業意識を高めた。

## 2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	該当校なし					

## 2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	岳陽中学校	8月28日~9月1日	職場体験(2学年・4学級)	136	408	生徒たちは職業や働くことへの理解が深まり、普段の生活からあいさつや礼儀などを心がけようとする意識が高まった。

## 3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

## 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○専門性に基づいた指導を受けることができ、大変参考になった。また、地域の皆さんとの交流を通して、地域に対する所属感を高めることができた。  
 ○支援推進員に運営審議会の委員の方々に委嘱し、支援ボランティア候補者リストを幅広く求めた。  
 ●今年度もコロナ禍の影響は残っており、昨年ほどではないものの、生徒の諸活動の制限や学校行事の内容の変更などがあり、校内の諸活動の調整等が難しい中、推進を図ることが困難な状況もあった。  
 ●小学校から要望のあった「戦争体験の話」など、高齢者の方の益々の高齢化でコーディネートが厳しくなっている。  
 ●中学校から図書の整理について要望があったが、人材を見つけられず、要望に応えられなかった。

## 5 活動、支援の様子



ミシン指導(三河台小学校)



百人一首指導(三河台小学校)



だんごさし体験(三河台小学校)



多文化共生講座(三河台小学校)



書き初め指導(岳陽中学校)



社会人に聞く会(岳陽中学校)

<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No.3	渡利学習センター
対象校	渡利小学校、南向台小学校、立子山小学校、渡利中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	渡利小学校	R5.7.11	学級懇談会での預り児童の支援(全学年11名)を行った。	3	3	懇談会時の待機児童の宿題や自主学習、読書など、ボランティアのできる範囲で支援していただいた。
2		R5.7.13	音楽科「琴の演奏を聞こう」「琴を演奏してみよう」における師範の演奏を聴き、演奏体験を行った。(5年生48名)	3	3	昨年に引き続き地元の琴の先生の理解と協力をいただき、琴の演奏を生で聞くことができた。また、琴の歴史について分かりやすく説明していただいた。
3		R5.12.4	1年生が地域のボランティアと一緒に「昔遊び」を行った。(1年生55名)	11	11	昔遊びを通して、ボランティアの方々や昔遊びの先生として、1年生と楽しく触れ合うことができた。
4		R6.2.28	学級懇談会での預り児童の支援(全学年11名)を行った。	3	3	懇談会時の待機児童の宿題や自主学習、読書など、ボランティアのできる範囲で支援していただいた。
5	立子山小学校	R5.7.10、12.8	年2回、外部ボランティアが訪問し、児童への読み聞かせを行った。(全校生11名)	3	6	読み聞かせは、子どもたちにとって大変意義で、本に対する興味関心を高めることにつながった。
6	渡利中学校	R5.12.13	1年生の総合的な学習(福祉学習)の導入段階で、外部講師の講話を聞いた。	3	3	実際に障害を持ちながら働いている方の話を聞いたり、手話を体験したりすることで、福祉に対する関心を高めることにつながった。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	立子山小学校	R6.1.11	全校生で地域の食品会社へ行き、凍み豆腐の作り方や干し方や編み方を学習し、実際に学校で凍み豆腐を編んで干した。	1	1	実際に地域の産業に触れることで、地域の良さに気づき、立子山への誇りや思いを持つことができた。
2		R6.2.8	3~6年生で学校で干した凍み豆腐を使って調理して食べた。	5	5	地域の特産物である凍み豆腐をおいしく負のおいしい食べ方を知り、家族などに伝えることができた。

2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	渡利小学校 南向台小学校 立子山小学校 渡利中学校	R5.10.14 10.15	渡利地区各小・中学校全児童生徒が、地区文化祭において絵画・書写などの作品を展示した。	65	130	地域住民が児童生徒の活動の様子や学習成果をしるよい機会となり、住民からも好評であった。
2	渡利中学校	R5.10.15	地区文化祭において、渡利中の吹奏楽部の子ども達が演奏を披露した。	31	31	地域住民が、地域の中学生の演奏を聴くことができ、とても好評であった。

2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	立子山小学校	R5.6.3	朝河貫一博士生誕150周年記念「立子山ふれ合いデー」、全学年の児童10名及び卒業生・地域住民が参加した。	60	60	朝河太鼓の創作・演奏や朝河博士の偉業を顕彰する活動を行うなど、地域が一体となって子どもたちを育む活動となっている。
			全校生でプランターに花の苗を植え、地域の公共施設などに配り、育ててもらった。	10	10	子どもだけでなく、家族や地域の方々や触れ合いながら苗植えをすることで、立子山地区の一体感を味わうことができた。
2	南向台小学校	通年	伝統芸能「峯山太鼓」、全学年希望者13名及び地域住民	13	156	開校以来、地域住民が中心となり、伝統芸能の継承を行ってきた。児童数の減少により参加する子どもたちも減少傾向にある。
			「大人と子どものふれ合い遊び」全学年希望者100名程度、保護者及び地域住民40名程度	140	140	餅つきや昔遊び、運動など、地区青少年健全育成推進会が学校と一体となって、地域の子ども達の健やかな成長のためにしている。
			児童への読み聞かせ、全6学級へ	7	84	毎月定例日に、地域の図書ボランティアが学年ごとに読み聞かせを行ってきた。長年の取り組みで、文科省や学校図書館の表彰を受けている。
			学校玄関の「生花」による環境美化	2	24	地域のボランティアの方が、季節や行事に合わせて、自「銅や訪問者のために玄関内に生花を飾り、環境美化に貢献している。

### 3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

### 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○例年行っている小学校での学校支援については、登録している学校支援ボランティアの方々の協力を得てスムーズに行うことができた。協力いただいたボランティアの方々は、当館を利用している団体の方々が多く、実施にあたり理解と協力を得やすく、ありがたい。また、渡利小で協力いただいた琴の師範の先生のように、「学校のため、子どものため」と引き続き協力いただけるのも大変ありがたい。

○毎年のことだが、小規模の小学校はもともと地域との関わりが強く、学習センターを通さず地域とつながっている。学習センターの支援を必要としないことも多いが、どのように活動しているか学校からの聞くことができ、情報を共有することができた。

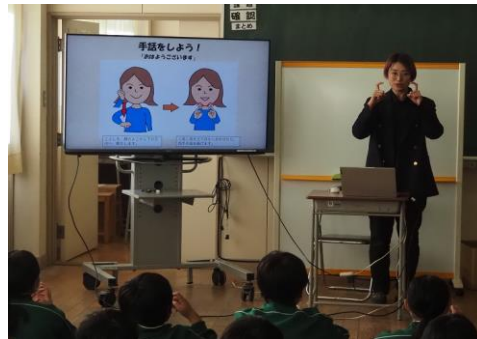
※学習センターが持っている地区全体の情報を各学校に流し、学校と共有していくことも大切である。(南向台小、立子山小)

●ボランティアの方々の口コミもあり、数名の登録者があるものの、全体として、高齢化が進み、新しい人材の発掘が急務である。

### 5 活動、支援の様子



渡利小学校 1年生 生活科「昔遊び」の様子



渡利中学校 1年生 総合的な学習の時間「福祉学習」の様子

<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No.4	杉妻 学習センター
対象校	清明小学校 杉妻小学校 福島第一中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	福島一中	11.9	○全学年19学級「家庭教育講演会」 講師:この花内科クリニック院長 テーマ「うまくいかない時の考え方」	1	1	○生徒のみならず地域には素晴らしい人材がいるという事が保護者・職員にも伝わった。
2	〃	1.17	○1学年5学級「職業人に学ぶ会」 各職種の講師派遣	5	5	○働く意義・魅力などを知り、進路選択に役立てる機会となった。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	清明小	6.8	○3・4学年計2学級「小鳥の森」を散策しながら森林や樹木の働きを学ぶ	2	2	○森林や樹木について理解が進んだ。
2	〃	7.10	○4学年1学級 荒川の氷質や生物を学ぶ	2	2	○荒川の働きについて理解できた。
3	杉妻小	6.28	○3学年3学級 理科授業「プラトンボ作り」	1	1	○全員が意欲的に取り組んでいた。
4	〃	9.7	○1学年3学級「親子ふれあい」ゲーム等実施	3	3	○ゲーム感覚の身体運動に夢中なる。
5	〃	9.19	○4学年3学級 創立記念の「とうろう作り」	1	1	○150年の創立を祝う作品が出来た。
6	〃	10.16	○5学年5学級アイマスクをしての百杖体験	1	1	○歩行の困難さ補助の重要性を体感。
7	〃	10.31~11.2	○5学年3学級 点字体験学習	3	9	○解読の困難さを知り理解を深めた。
8	〃	11.14~16	○5学年3学級 手話体験学習	2	6	○挨拶から省略の仕方等学びを深めた。
9	〃	12.4	○5学年3学級パラリンピック競技種目体験	3	3	○体験談から将来の生き方を学べた。
10	〃	10.26	○4~6学年10学級 長距離走の走り方	1	1	○ペース配分など基本的技術を学べた。
11	〃	12.13	○5学年1学級 家庭科「ミシン」	1	1	○アドバイス等、個別指導が徹底できた。
12	〃	毎週水(28回)	○全学年25学級 昼の放送での読み聞かせ	7	48	○本へ関心をもち豊かな情操を育んだ。
13	〃	月/金(全30回)	○4~6年9学級学生ボランティアの学習支援	2	28	○授業の補助できめ細かな指導が可。

2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	杉妻小	1.29	○1学年3学級 生活科「冬をたのしもう」 昔遊びをしよう。	15	15	○子ども達が「昔遊び」の楽しさを実感でき、地域の方との交流も図る事ができたのは収穫。
2	福島一中	10.28	○合唱部(10名)地域文化祭への参加	0	0	○地域の文化祭のオープニングと芸能発表の場において活動の機会を得ることが出来たのは有意義であった。

2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	杉妻小	1.15	○2学年4学級 生活科「だんごさし」	0	0	○地域の伝統行事を体験できたが、だんごの美食は出来なかった。 ●令和元年のコロナ禍前までは学習センターで本物のだんご作りを行っていた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○学校のニーズに応えるコーディネートは、概ね達成できたと思われる。また、連絡調整等もある程度、スムーズに行える環境を整える事ができた。  
●教職員の雰囲気として、カリキュラムに組み込まれた行事等をサポートされる事に問題はないが、新たな事業となると難しい感がある。また、サポートであっても外部の人間が入ること自体、場合によってはそれなりの準備が発生し、抵抗があるのではないと思われる。  
※要請・要望の窓口は、ダイレクトに各学年単位でも可、という共通理解が周知徹底されれば、連携はさらに図りやすくなるかもしれない。

## 5 活動、支援の様子



家庭教育講演会(福島第一中学校)  
演題「答えのない問題を解く」 講師：この花内科クリニック院長



職業人に学ぶ会(福島第一中学校)



農家  
果樹園経営者

総合病院医療従事者



印刷会社デザイナー



プロスポーツ  
トップチームコーチ



新聞社論説員

昔遊びの会(杉妻小学校)

メンコで遊ぼう



おはじきを弾いてみよう



ケン玉に挑戦しよう!



竹とんぼを飛ばそう!



コマを回してみよう



折り紙を折ってみよう



あやとりを覚えてみよう



お手玉に慣れよう



羽根つきのラリーを目指そう



<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No.5	蓬萊学習センター
対象校	蓬萊小学校、蓬萊東小学校、蓬萊中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	蓬萊小学校	5月11日・10月18日	サツマイモ植え・収穫(2年・2学級・畑の畝作り、苗植え、収穫の世話)	4	8	生活科の学習で、専門的な知識を有するなごみ会の方のご協力で苗植えや収穫を体験することができた。
2		10月10日	昔遊び体験学習(1年・1学級・竹トンボなどの昔遊び体験の世話)	7	7	地域の方々と触れ合いながら、昔遊びを教えていただき、昔遊びに親しむことができた。
3		5月31日～3月8日	本の読み聞かせ(1年～3年・4学級・朝の時間各クラスを訪問しての本の読み聞かせ)	6	47	各学年の児童の興味関心に合わせた本の読み聞かせをおたたくことで読書への興味関心が高まった。
4		5月15日	ミシンボランティア(全学年・10学級・運動会使用の勝旗作成)	7	7	運動会の勝旗が新調できたことで、子どもたちの運動会への意欲が高まった。
5		9月12・15・28日 11月20・27日	ミシンボランティア(5・6年・各1学級・家庭科のミシン学習補助)	7	33	ミシンの事前調整、ミシン掛けの作業支援をいただくことでミシン操作の技能が高まった。
6	蓬萊東小学校	5月～2月	朝の本の読み聞かせ(1～6年・特別支援学級)	8	40	朝の落ち着いた時間を過ごし絵本への興味を高めた。
7		6月～3月	特別支援学級の協力学級への交流教育の付き添い	8	57	子どもが安心して集団活動に取り組むことができています。
8		11月～12月	家庭科ミシン操作の補助・個別指導	7	35	マンツーマンで技能を高めることができた。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	蓬萊小学校	9月6日	包括支援センターによる介護体験(5年・1学級・高齢者体験や福祉に関する講義)	2	6	高齢者の体験活動を通して、体に起こる変化を実感を持って理解し、福祉事業等に対する理解や関心を高めることができた。
2		11月14・15日 1月24日	環境再生プラザによる放射線出前授業(1～3年・6学級・放射線教育に関する出前授業)	2	12	学年に応じた資料提示や実験活動などを通じて、放射線に関する知識や放射線を減らす取組について理解を深めることができた。
3	蓬萊東小学校	9月上旬	包括支援センターによる介護体験	5	5	自分事として取り組み、身近な家族や隣人に対して自分にできることを体験を通じて考えることができた。
4		12月4日	ゲストティーチャーによる道徳科(命の授業)の実施	1	1	命の尊さを改めて感じ、自他の命を大切にするとともに、精一杯生きることのすばらしさを考えることができた。

2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	蓬萊小学校	10月7・8日	第48回蓬萊地区文化祭(絵画・書写作品等の掲示)	0	0	子どもたちの作品を地域の方に見てもらうことで、学校の教育活動への関心を高め、子どもたちの活動への理解を得ることができた。
2	蓬萊東小学校	10月7・8日	第48回蓬萊地区文化祭(絵画・書写作品等の掲示)	0	0	蓬萊の方々に学習の成果を発表する機会となった。
3	蓬萊中学校	10月7・8日	第48回蓬萊地区文化祭(器楽部演奏、美術作品・習字・俳句・短歌の掲示)	0	0	蓬萊の方々に演奏を喜んでいただけた。また、学習の成果を発表する良い機会となった。
4		11月7日	小・中交流活動(ボランティア)蓬萊中央公園 中学2年生と小学6年生による落ち葉清掃	0	0	雨天により中止

## 2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	蓬萊小学校	11月12日	秋の一斉清掃活動(全学年・希望者・学校周辺の落ち葉はき)	40	40	なごみ会の方々と校舎周辺の歩道等の環境美化を図ることができた。
2	蓬萊小学校 蓬萊東小学校 蓬萊中学校	11月26日	蓬萊地区青少年健全育成推進親子清掃(全学年・希望家族・蓬萊中央公園内のごみ拾い)	70	70	蓬萊中央公園内のごみ拾いを行い、公園内の環境整備を図ることができた。
3		4月下旬	地域の安全巡回ボランティアの方々への感謝の会	8	8	巡回ボランティアの方々との顔合わせを行い、交通安全遵守の意識づけと地域との繋がりを育めた。
4	蓬萊東小学校	10月中旬	チューリップ球根の贈呈式	3	3	地域の母の会の方々から球根を頂き、次の年にもプランターにきれいな花を咲かせようという意欲を高めた。

## 3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	3
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	2
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

## 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○学校からの支援要望に応じた学校支援ボランティアを概ね派遣することができた。  
 ○既存のボランティア団体が継続して支援を行っていただいたことから、学校のニーズに合った支援を行うことができた。  
 ○学校からの支援要望に応え、学習センターの事業参加者の組織を活用することができた。  
 ●地域の特性から、地域と学校の関わりの中で、学習センターのコーディネートを活用しなくとも、学校独自に地域の人材・団体等を活用し、教育活動へ支援を受けている内容も多い。  
 ※地域学校協働活動を考えた場合、地域独自、学校独自での活動内容を精選しながら進めていかなければ、活動内容が増え学校も地域も負担になってしまうことが考えられる。学校、地域の情報を集め、互いのニーズに合った活動内容となるよう努める。  
 ●ボランティアの方々の高齢化が進み、新しい人材の育成、発掘が必要である。

## 5 活動、支援の様子



家庭科ミシン操作の補助・個別指導(蓬萊小学校)

蓬萊小学校・蓬萊東小学校の2校において、学習センターの事業参加者の組織を活用して、5年生と6年生の家庭科ミシン操作の補助と個別指導を行った。ボランティアの方々には、ミシンの状態確認、制作物の確認と手順等について、担任教師と事前打ち合わせを行った上で活動にあたった。



朝の本の読み聞かせ(蓬萊東小学校)

蓬萊小学校・蓬萊東小学校において、各登録ボランティア団体が年間を通して計画的に、朝の読み聞かせの活動を行った。年間計画を作成するにあたっては、学校(教頭が中心)と打ち合わせを行うことで、本に親しむことができたり、国語の学習と関連させるなど学習の幅を広めることもできた。

【様式4】	令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価
No.6	清水学習センター
対象校	清水小学校・御山小学校・北沢又小学校・森合小学校・清水中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	清水小学校	11月22日~24日	第2学年4学級が清水学習センターの施設を案内していただいたり、役割を説明いただいた。	92	92	学習センターの理解が深まり、自分も利用してみたいという意欲が高まった。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	清水小学校	10月12日	第3学年3学級が地域にある会社、寺社、商店などの協力を得ながら地域学習をした。	89	89	自分たちの住む町への関心が高まった。
2	清水小学校	6月8日	第5学年3学級が地域の稲作農家による育苗から田植えまでの説明をいただいた。	84	84	稲作についての理解が深まった。
3	清水小学校	11月15日	第5学年4学級が地域の稲作農家による稲刈りから脱穀までの説明をいただいた。	84	84	米作りについての苦労や携わる人々の思いを学ぶことができた。
4	御山小学校	授業日(208回)	見守りボランティアに登下校の際の見守り声掛けをしていただいた。	10	2080	多くのボランティアの方に子どもたちの学びを支え、環境を整えていただき、教育活動を充実させることができた。
5	御山小学校	毎週月曜日(36回)	生け花ボランティアに玄関や校長室に花を生けていただいた。	1	36	子どもたちは、ボランティアの方にたくさんほめてもらい、励ましてもらい、安心して、自信をもって活動することができた。
6	御山小学校	4月・10月(4回)	栽培ボランティアにサツマイモ苗植え一人一鉢の野菜栽培のお手伝いをしていただいた。	2	10	
7	御山小学校	4月(5回)	給食ボランティアに1年生の配膳や片付けをしていただいた。	6	23	
8	御山小学校	毎週水曜日(30回)	図書ボランティアに図書の修理や図書室の掲示物作成をしていただいた。	6	44	
9	御山小学校	5・6・9・10月(26回)	ソーイングボランティアに手縫いの仕方やミシンの使い方などを指導していただいた。	6	76	
10	御山小学校	6月(5回)	ギョギョ・トントンボランティアにのぎりの安全な使い方などを指導していただいた。	2	6	
11	御山小学校	6月(3回)	体力テスト支援ボランティアに長座体前屈の測定をしていただいた。	2	3	
12	御山小学校	6月(1回)	校外学習引率ボランティアと一緒に歩いていただいた。	1	11	
13	御山小学校	6・7月(12回)	プール見守りボランティアにプールサイドで見守っていただいた。	3	17	
14	御山小学校	9月27日	地域の名人に学ぼうで1年生から6年生までの縦割り班で、17コースから2コース選択し地域の名人から教わった。	66	66	
15	北沢又小学校	9月15日、19日、20日、21日、22日、25日、26日、29日	5学年2学級、総合的な学習の時間に清水地域包括支援センター依頼し、高齢者とともに認知症サポーター要請講座を8回実施してもらう。	20	35	高齢者の方から直接話を伺ったり、ロールプレイを行ったりすることで、認知症について正しく理解することができた。
16	北沢又小学校	年間月1回程度	1学年3学級、2学年3学級、朝の時間に各教室へ入り、各月1回程度計12回読み聞かせを行ってもらう。	3	36	発達段階や季節にあった絵本を読んでいただくことで、子どもたちの読書への意欲や興味が高まった。
17	北沢又小学校	12月14日、1月18日、1月23日	3年生2学級、総合的な学習の時間に、県障がい者スポーツ協会よりポッチャ、シッティングパレー、ゴールボールの説明をしてもらう。	4	12	障がい者スポーツに楽しく参加し、ルールやその歴史等を学ぶことで、相手を思いやる心をはぐくむことにつながっている。
18	北沢又小学校	9月27日、1月16日	3年生2学級、5年生2学級、総合的な学習の時間に福島市障がい福祉課と聴覚障がいのある方に、計2回手話出前講座を行ってもらう。	4	8	聴覚障がいの方と直接触れ合う機会は貴重であり、障がいの理解やコミュニケーションの取り方を考える機会になった。
19	北沢又小学校	9月13日	4学年3学級、社会科 市役所・自衛隊の方に災害にかかわる仕事について教えてもらう。	5	5	災害に備えた取り組みを具体的にかつ児童に分かりやすく説明いただいた。現場で働く人のお話は興味深く、関心も高まった。
20	北沢又小学校	1月30日	4学年3学級、総合的な学習の時間にJA職員と部員の方からジャムづくりを教えてもらう。	7	7	ジャムづくり体験を通して、地域素材を生かした活動とそれにかかわる人々の思いについて学ぶ機会となっている。
21	北沢又小学校	10月26日、27日	5学年2学級、総合的な学習の時間に、市社会福祉協議会から計2回高齢者疑似体験をさせてもらう。	2	4	学校では体験できない器具等を準備いただくことで、子どもたちの体験の質が高まり、実感を伴う学びにつながっている。
22	北沢又小学校	11月24日	5学年2学級、総合的な学習の時間に、視覚障がい者協会から点字体験教室を行ってもらう。	4	4	点字用器具や身近なものについている点字表記などを示してもらったりしたことで、実感を伴う学びにつながっている。
23	清水中学校	10月21日(土)	学校創立40周年記念事業(式典 記念誌 クリアファイル、航空写真など) 全校生徒405名 教職員40名	16	80	生徒の地域理解に役立った。地域の積極的参加をもっと促したかった。
24	清水中学校	9月23日(土)	しみずキッチン(子ども食堂)全校生徒・全教職員対象 約200名	30	30	参加生徒は大感激。地域の皆様に感謝、感謝。秋の開催で3年生の参加が少なかった。時期の検討要。

## 2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	清水小学校	10月22日	合奏部 清水地区文化祭において合奏部が演奏会の機会をいただいた。	43	43	演奏の機会を得、大きな経験となるとともに、地域の皆様に喜んでいただいた。
2	御山小学校	9月30日	6年・2学級・生涯学習の集いで鼓笛演奏を披露した。	58	58	演奏の機会を得、大きな経験となるとともに、地域の皆様に喜んでいただいた。
3	北沢又小学校	10月21日、22日(準備会20日)	清水地区文化祭 児童作品出品(全学年33品)	1	1	児童の硬筆・毛筆・絵画等を、広く地域の方々に見ていただく機会となり、出品された児童や保護者も喜んでいただいた。

## 2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	清水小学校	通年	第6学年 2学級 清水地区の福祉施設の講師を数種、数回に渡り招聘し、体験学習や講義をいただき、自分たちの実践に役立てた。	67	67	学習発表会でその成果を発表した。
2	北沢又小学校	5月26日、6月14日	2学年・3学級、生活科 保護者ボランティアを募り、学校周辺の町探検における安全確保・引率をお願いする。	28	31	保護者の協力により、子どもたちの興味関心に応じた場所を見学することができた。
3	北沢又小学校	9月19日、20日	3学年・2学級、社会科 近隣スーパーでの仕事内容の説明を受ける。(計2回)	2	4	働く人の実際の姿やお客様のことを考えたサービスについて、直接お話をきくことで、実感を伴う学習にすることができた。
4	北沢又小学校	11月26日、28日	3学年・2学級、社会科 消防署・警察署をそれぞれ見学し、仕事内容について説明を受ける。(計3回)	8	12	通信指令室の役割等について、実際の現場見学を通して、くらしを守る仕事について学びを深めることができた。

## 3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	3
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	2
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

## 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○各学校はこれまで通り、学校独自の地域人材を生かして効果的な教育活動を行っている。また、清水学習センターの文化祭の折には、実行委員会の要請に応じて鼓笛隊や合奏部の演奏、絵画や工作の展示等の参加により、地域との連携も図っており地域からの評価も高い。

●今年度も清水学習を通じたボランティア登録者の活用はなかったが、学校ごとに趣旨に沿った教育活動は行われている。ボランティアの保険加入についても啓発していく必要がある。

<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No. 7	もちずり学習センター
対象校	岡山小学校、月輪小学校、福島第三中学校、ふくしま支援学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	岡山小学校	11.15,16	○3~6年(9学級)持久走記録会の走路誘導、安全管理	8	14	子ども達が安全にゴールを目指して走りぬくことができた。
2	月輪小学校	6.9,15,21	○6年(1学級)、社会科、月輪の歴史を知ろう(ガイダンス・フィールドワーク)	1	3	月輪の地名の由来や阿武隈川との関わり等、具体的でわかりやすかった。フィールドワークでは、昔の川の流れ、善公土手跡など地形を見ながら学ぶことができ、児童の関心が高まった。
3		12.12	○1~4年(4学級)絵本、紙芝居等の読み聞かせ、手遊び	5	10	手遊びや手話も取り入れて構成されており、楽しく参加することができた。
4		1.30	○6年(1学級)、家庭科、ミシン指導	4	4	トートバック製作において、ミシン操作の支援を受け熱心に活動に取り組むことができた。
5		2.5	○5年(1学級)、家庭科、ミシン指導	4	4	支援の方の説明をしっかりと聞きながら一生懸命に取り組むことができた。
6	ふくしま支援学校	6.28	○高等部2年(2学級)校内の美化活動	5	5	雨天のため、河川敷清掃を校内の清掃に変更。清掃の仕方だけでなく、いろいろな話をしていただき楽しい時間となった。
7		11.22	○高等部3年(3学級)フラワーアレンジメント指導	3	3	実態に合わせてアドバイスしていただいたおかげで素敵なアレンジメントができ、生徒たちもとても喜んでいました。
8		9.22~3月	○小学部1年(1学級)児童の身支度や遊びの見守り、個別の学習指導補助	1	27	担任の補助をしていただいたおかげで、児童が落ち着いて過ごすことができた。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	岡山小学校	6.13 11.22,29, 30	○1年(3学級)、2年(2学級)自然に親しむ 3年(2学級)、森の生き物たちについて	12	22	木々の種類や生息する生き物について興味をもつことができた。
2		8.29 9.19	○6年(2学級)、地域の歴史を学ぶ	5	6	地域の成り立ちや歴史的な出来事を学ぶことができた。
3	月輪小学校	6.2	○5年(1学級)、ひも結び体験教室	1	1	専門性の高い講師のもと、意欲的に取り組んでいた。
4		5.25, 6.20	○4年(1学級)、キュウリ栽培、支柱たて	2	2	専門的な知識を持つ方の協力を得て、苗植えや収穫を体験することができた。
5		5.26,11.2 12.18	○1年・2年(2学級)、生活科、サツマイモ苗植え・サツマイモ掘り・収穫祭	3	3	専門的な知識を持つ方の協力を得て、苗植えや収穫を体験することができた。
6		9.25	○6年(1学級)、体育科、表現運動の補助	1	1	専門性の高い講師のもと、意欲的に取り組んでいた。
7		10.11	○5年(1学級)、米粉クッキング体験	4	4	地域の農作物を生かした料理に関心をもって積極的に取り組むことができた。
8	福島第三中学校	11.21	○4年(1学級)、豆腐作り体験	5	5	地域の農作物を生かした料理に関心をもって積極的に取り組むことができた。
9		9.4~9.8	○2年(4学級)、職場体験活動			39の事業所等での直接体験、及び働いている方々の話により、職業観を育むことができた。
10		1.17	○1年(5学級)、職業人に学ぶ会	10	10	10の事業所等から来てくださった方々の講話により、働くことの意義を理解することができた。

2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	岡山小学校	9.20	○2年(2学級)、生活科、もちずり学習センター見学	1	1	地域の施設について見学を通して学ぶことができた。
2	岡山・月輪小学校 福島第三中学校	11.11,26	○小学生(述べ21名)、卓球指導	8	12	小学生の卓球教室において、中学校の卓球部員が丁寧に指導してくれた。児童は安心して学ぶことができた。
3	福島第三中学校	10.28,29	○1、2年生(6名)、もちずり地区文化祭受付・案内補助	6	9	来場者に丁寧に受付・案内を行ったり、くじ引きで場を盛り上げてくれたりした。

## 2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	岡山小学校	5.1, 24 9.20	○2年(2学級)、生活科、まち探検(郵便局 駐在所 給食センター等)	15	15	自分たちの身近な地域について、理解を 深め愛着をもつことができた。
2		11.15,24	○4年(3学級)、地域の史跡を学ぶ(文知 摺観音、菅原神社見学)	2	2	地域の歴史について学ぶことができ、 もっと知りたいと学習意欲の向上につな がった。

## 3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	3
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	2
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

## 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○ 通常の生活が戻ってきたため、各校とも交流活動が活発に行われるようになった。本事業も少しずつ理解されるようになってきたように思う。コロナ以前に活動をしていたということで、「学校からの希望はないか」と積極的に活動を申し出てくれるボランティアの方もいらっした。

○ 小学生の卓球教室の講師を福島第三中学校の卓球部生徒に依頼。保護者からは大変好評であった。地域の児童・生徒同士の交流という点においても有効であると思う。

● 学習支援のボランティアよりも、生活支援のボランティア(4月当初の1年生支援、支援が必要な児童の見守り等)を希望された学校があった。ボランティアの方は高齢の方が多く対応が難しい。

● 実施日まであまり余裕がなく依頼されることもあり、ボランティアの方と十分に打合せできないことがある。ふくしま支援学校のように年間計画に入れていただくと、およその時期が把握しやすい。

## 5 活動、支援の様子



持久走記録会(岡山小)



町探検(岡山小)



卓球教室(岡山・月輪小・三中)



地域の歴史を学ぶ(月輪小)



読み聞かせ(月輪小)



ミシン指導(月輪小)



美化活動  
(ふくしま支援学校)



フラワーアレンジメント  
(ふくしま支援学校)

<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No.8	北信学習センター
対象校	鎌田小学校 瀬上小学校 余目小学校 矢野目小学校 北信中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	余目小学校	7.18	○全校生134名、三世交流でニューススポーツ体験	16	16	○全学年5種類のニューススポーツを、お年寄りに教えてもらいながら、楽しく体験できた。
2	矢野目小学校	10月~11月	○5年(2学級)6年(1学級)、家庭科ミシン補助	3	9	○縫い方やミシンの使い方を支援していただき、仕上げる事ができた。
3	瀬上小学校	12.5	○1年(3学級)、生活科、昔遊び	8	24	○5種類の昔遊びをして、お年寄り子ども供たちが楽しく交流できて、貴重な学びの場となった。
4	瀬上小学校	9月~	○1~3年(指定学級)学習支援	5	200	○個別最適な支援を行い、子供の安心感が高まった。
5	矢野目小学校	5月~	○マルチサポートルーム支援	4	37	○子供たちにも、教職員にも大変良かった。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	矢野目小学校	11.18	○全校生353名、防災訓練	3	3	○支所との連携により、事前打ち合わせを行って臨み、多数の地域の方々も参加。
2	鎌田小学校	1.11	○3年(1学級)、りんごジャム作り	3	3	○地域代表委員とJA婦人部のジャム作りを参観した。
3	矢野目小学校	4.27	○3年(2学級)、りんご作り見学	1	1	○実際にりんご畑に行き観察できたが、ボランティアの方と連絡がつかず、その後の観察や収穫体験ができなかった。
4	矢野目小学校	5.17・9.13.26	○5年(2学級)米づくり見学	1	3	○春から継続して見学に行き、成長の様子観察することができた。
5	矢野目小学校	6.23・8.25	○6年(3学級)矢野目地区フィールドワーク	2	4	○地域の史跡をめぐり、矢野目地区について詳しく知ることができた。
6	余目小学校	4.14 5.19 10.5 12.11	○5年(1学級)米作り(説明、田植え、稲刈り、感謝の会)	7	7	○米作りのあらましを理解し、手植え、手刈りの大変さを体験できた。
7	余目小学校	6.20 10.13 11.22	○3年(1学級)りんご作り(摘み取り、収穫、ジャム作り)	11	11	○収穫物を調理し食べることで、地域の産物への親しみが深まった。
8	余目小学校	5.30・10.26	○2年(1学級)サツマイモ作り(植え付け、収穫)	2	2	○サツマイモ特有の植え方を通じて、作物に合った世話の仕方があることを知った。
9	余目小学校	6.19	○5年(1学級)田んぼの生き物調べ	1	1	○水田の生物多様性に気づくことができた。
10	余目小学校	9.21	○6年(1学級)花育	3	3	○生け花の歴史を知るとともに、日本古来の文化に親しむことができた。
11	瀬上小学校	年間	○3年(3学級)りんごについての学習	1	8	○地域に根付いた産業について、深い学びとなった。
12	瀬上小学校	7月・1月	○5,6年(6学級)味噌づくり	1	6	○地域に根付いた産業について、深い学びとなった。

2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	北信中心れあい学習室	5.1	○1,2年4名、花壇の除草作業	4	4	○学級生と中学生の良い交流の機会だった。
2	余目小学校	9.8	○2年(1学級)、学習センターと図書室見学	3	3	○利用団体の見学や1冊本を借りることができた。
3	北信中家庭部	10.14~15	○1年5名、北信文化まつり模擬店の手伝い	5	10	○2日間とてもよく手伝ってくれた。
4	北信中学校	10.2	○地域代表委員4名、白雲祭3年合唱鑑賞と展示見学	4	4	○生徒も代表委員も貴重な機会だった。
5	北信中学校	10.14~15	○吹奏楽部(65名)、合唱部(16名)、演劇部(14名)、地区文化祭への参加	8	8	○中学生や地域の方々にとっても、触れ合う貴重な機会となった。
6	5校	7.26	地域一斉グリーン活動		110	○夏季休業中だったが、小、中学生や地域の方々との交流ができた。
7	5校	6月~11月、3月の15日前後	朝のあいさつ運動(年7回)		140	○小、中学生や地域の方々が行い、あいさつの意識を高めることができた。

2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	瀬上小学校	12.1	1年(3学級)、朝の読み聞かせ参観	2	2	○地域代表委員と福島学院大学の読み聞かせを聞いた。
2	瀬上小学校	各月	福島学院大学による、読み聞かせボランティア	80	160	○下学年児童を中心に、本に対する興味が深まった。
3	鎌田小学校	5月~1月	3年(3学級)リンゴの学習(受粉・摘果・収穫)	1	5	○実際の作業を体験することで、実感を伴った学びになった。書き対策が必要である。
4	鎌田小学校	1.11	3年(3学級)リンゴジャム作り	6	18	○各グループにボランティアの方がついてくださったので、安全に学習を行うことができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整・要望の把握・登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

#### 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○4年ぶりの余目小の三世代交流は、当初6月の予定が中止となったが、何とか実現させようと学校と話し合いを重ね、1学期末に実行に至った。お年寄りも子供たちもとても楽しそうに活動していたので、大変意義深い交流だった。  
 ○4年ぶりの瀬上小昔遊びは、鎌田地区のお年寄りが5つの遊びを教えて下さり、子供たちが15分交代で体験するというやり方で、お互いとても楽しく活動できた。  
 ○2校の小学校の校長先生からの依頼により、学習支援ボランティアの方々を見つけ出し、快く協力していただき、スムーズに連携することができた。

#### 5 活動、支援の様子



朝のあいさつ運動(鎌田小学校)



三世代交流(余目小学校)



昔遊び(瀬上小学校)



クリーン活動(鎌田小学校)



りんごジャム作り(鎌田小学校)



昔遊び(瀬上小学校)



朝のあいさつ運動(矢野目小学校)



三世代交流(余目小学校)



マルチサポートルーム(矢野目小学校)



北信文化まつり(北信中学校保護者など)



みどりの広場(北信中学校ふれあい学習室)



読み聞かせ(瀬上小学校)



北信文化まつり(北信中学校演劇部)



北信文化まつり(北信中学校吹奏楽部)



北信文化まつり(北信中学校合唱部)



<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No.9	吉井田学習センター
対象校	吉井田小学校

### 1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネーター有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	吉井田小学校	6.29~30 7.4	○6年(1学級)、家庭科、トートバッグ作り	6	8	○ミシン操作の指導により、上手にトートバッグを仕上げる事ができた。
2		7.11	○6年(3学級)、総合、吉井田地区の歴史	1	1	○吉井田地区には多くの史跡があることがわかり、探求の意欲を高める事ができた。
3		11.2.6、7、 9、14、16、 20、21、24	○5年(3学級)、家庭科、エプロン作り	7	18	○ミシンの最初の学習であったが、上手にエプロンを仕上げる事ができた。 ●日程の分散化によりボランティアの確保に苦慮した。
4		12.7	○4年(3学級)、音楽科、方木田稻荷太鼓	3	3	○方木田稻荷太鼓への理解を深めるとともに、楽器演奏の楽しさを味わう事ができた。
5		1.27	○2年(3学級)、生活科、つるし雛	3	3	○簡単なつるし雛作り体験を通して、楽しくつるし雛への理解を深める事ができた。

### 1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネーター無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	吉井田小学校	5.29	○5年(3学級)、総合の時間、荒川の水質調べ	3	3	○ボランティアの補助を受けて、意欲的に調査活動に取り組む事ができた。
2		2.28	○3年(4学級)、総合の時間、土湯こけし絵付け体験教室	3	3	○絵付け体験を通して、土湯こけしに対する理解を深める事ができた。

### 2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネーター有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	吉井田小学校	8.4,5	○3~6年(10名)、学習センター主催の小学生対象防災キャンプ(非常食の試食、災害に関する話、バケツリレー体験、消火体験、防災ワークショップ等)の参加	(38)	(43)	○地域の協力により災害時の共同生活を疑似体験できた。福島西高校家庭クラブによる防災ワークショップでは、子どもたちと高校生との交流も深まった。
2	吉井田小学校 (岳陽中学校)	10.28、29	○地区文化祭の参加(作品展示)	0	0	○学習センターの文化祭で絵画等の貴重な作品発表の機会となった。
3	吉井田小学校	11.16	○2年(3学級)、生活科、学習センター見学(学習センターの概要説明、少年教室の活動の紹介、図書室の説明、図書の貸出)	0	0	○学校との連携を深め、図書貸出券を事前に発行し、当日、全員が多くの本を借りる事ができた。
	福島大学付属 特別支援学校	9.27	○小学部(4名)、学習センター見学及び利用団体との交流	(13)	(13)	○学習センターの利用団体(ダンスサークル)とダンス交流を深めた。
		12.13	○高等部(5名)、学習センターの清掃活動	0	0	○地域貢献活動の一部として学習センターの清掃活動を行った。

### 2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネーター無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	該当校なし					

### 3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネーターができたか。	4
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネーターができたか。	4
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

### 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○新型コロナの5類移行に伴い活動が活発化し、学校と連携を密にして地域人材のマッチングを図ることができた。
○児童からボランティアや学習センターのお礼パネルや感想文などが渡されるなど感謝の言葉がより具体的に示された。
●学習ボランティアの高齢化が進み、人材の育成・発掘が求められる。
※地域の関係団体と連携を密にして人材の育成・発掘にあたる。

5 活動、支援の様子



ミシンの指導(5年生)



方木田稲荷太鼓の指導(6年生)



つるし雛の指導(2年生)



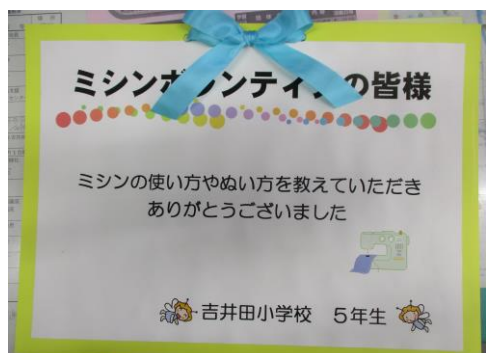
防災キャンプ(福島西高生によるワークショップ)



吉井田学習センター見学学習(2年生)



吉井田地区文化祭(作品展示)



ミシンボランティアへの感想文集 表紙(5年生)



学習センター窓口に掲示されたお礼のパネル(2年生)

<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No.10	西 学習センター
対象校	荒井小学校、佐倉小学校、佐原小学校、西信中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	荒井小学校	5月2日	5年・1学級 種まき・田起こしの指導	5	5	丁寧に教えていただき、貴重な体験となった。
2	荒井小学校	5月26日	5年・1学級 田植えの指導	6	6	初めて入る田んぼの感触に感動した児童が多かった。
3	荒井小学校	7月13日	5年・1学級 草取りの指導	2	2	暑い中頑張って草取りをした。
4	荒井小学校	10月4日	5年・1学級 かかしたての補助	1	1	個性あふれる案山子をグループごとに作成して、立てることができました。
5	荒井小学校	10月16日	5年・1学級 稲刈りの指導	6	6	たくさん実った稲に大満足だった。
6	荒井小学校	11月6日	5年・1学級 脱穀の指導	2	2	機械にかけてもみの状態にした。もみを手ですくって感触を確かめた。
7	荒井小学校	11月29日	5年・1学級 収穫祭への参加	4	4	教えていただいた先生方をお招きしてもてなした。
8	荒井小学校	12月1日	2年・1学級 センター見学の補助	3	3	見学させていただいたり、茶道体験をさせていただいたりして、楽しい時間をすごすことができました。
9	佐原小学校	2月1日	5・6年・1学級 家庭科学習・ソーイングミシン補助	3	3	児童一人一人の活動が非常にスムーズに進めることができた。
10	佐原小学校	2月8日	5・6年・1学級 家庭科学習・ソーイングミシン補助	3	3	細やかに対応していただき担任一人で難しいところを非常に助けられた。
11	西信中学校	6月11日	ボランティア部・あらかわふるさと川ウオーキングにボランティア参加する生徒への支援	1	1	ボランティア活動に取り組みうえで、その意義や内容を理解し、積極的に取り組むことができた。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	荒井小学校	7月11日	1学年・1学級 2学年・1学級 読み聞かせ	2	2	とても楽しいお話を聞いた。
2	荒井小学校	12月12日	1学年・1学級 2学年・1学級 読み聞かせ	2	2	いつもたくさんのお話を聞き、子どもたちも大満足だった。
3	荒井小学校	12月18日	5年・1学級 米粉クレープづくり体験	5	5	丁寧に教えていただき、貴重な体験となりました。
4	荒井小学校	1月23日	6学年・1学級 ごんにゃく作り体験	5	5	ごんにゃくが学からできることを初めて知った児童もいました。
5	佐倉小学校	6月23日	6年・1学級 地域の歴史、現地説明会	2	2	直接実地を見、地域の方から説明を聞くことにより、より詳しく知ることができ、歴史への関心が高まった。
6	佐倉小学校	年17回	全学年・1学級 図書読み聞かせ(ローテーション)	5	18	図書への関心が高まり、意欲的に本を手にとるようになった。落ちついて、相手の話を集中して聞けるようになった。
7	佐倉小学校	12月15日	3~6年 書き初め教室	4	4	運筆や文字のバランス、名前の書き方等について指導をいただき、書き初めへの意欲が高まった。
8	佐倉小学校	1月16日	1・2年 昔遊び交流	4	4	お手玉やあやとり、手遊びなどを教えてもらい、自分でも遊べるようになった。他人与人とのコミュニケーションをとりながら活動する楽しさを体験できた。
9	佐原小学校	月1回	1・2年・1学級 読み聞かせ	2	12	図書に興味を持ち、児童の読書量が増えた。
10	佐原小学校	12月12日	6年・1学級 陶器工作・卒業制作 陶器づくり	1	1	和み工房 尾形和夫さんの支援により卒業記念となる陶器が製作できた。
11	佐原小学校	年4回	3・4年・1学級 総合的な学習の時間・米作り	2	8	田植えから稲刈りまでの体験活動ができ、米作りの工夫や苦労を体感することができた。

2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	荒井小学校	10月14日15日	1~6年西文化祭への作品出品	24	24	児童の作品を地域住民に見ていただくことができた。
2	佐倉小学校	10月14日15日	1~6年西文化祭への作品出品	18	18	児童の作品を地域住民に見ていただくことができた。
3	佐原小学校	10月14日15日	1~6年西文化祭への作品出品	19	19	児童の作品を地域住民に見ていただくことができた。
4	西信中学校	10月14日15日	1~3年西文化祭への作品出品	32	32	生徒の作品を見ていただくことができた。

2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	西信中学校	5月14日	福島市地域づくり活動(田植え)			活動を通して東京都や山口県の方々と交流することができた。
2	西信中学校	9月10日	西地区敬老会			普段はあまり接することのない地域高齢者の方々と接することができ、感謝の思いを伝えることができた。
3	西信中学校	9月17日	福島市地域づくり活動(田植え)			活動を通して東京都や山口県の方々と交流することができた。
4	西信中学校	10月15日	西地区文化祭ピアノ演奏			練習の成果を地域の方々に披露できるよい機会となった。
5	西信中学校	10月29日	西地区故郷の歴史発見事業「物思いの喜劇」エキストラ参加			少ない練習時間で真剣に練習し、たくさんのお客さんの中で立派に演技することができた。
6	西信中学校	12月9日	福島ふるさと体験交流会事業「銀座中学校(東京都)訪問」			互いの中学校の生徒活動についての紹介・発表をとおし、環境が違う両校の現在と将来について話し合うことができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点 評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

#### 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○学校で進めている継続した体験活動や新規の学習支援の要望に対して、地域人材をコーディネートして派遣したり、学習センター職員も支援活動にあたりすることで、学校の教育活動の充実に努めることができた。  
 ○各学校からの地域の人材情報や地域情報の提供依頼に対して、センターで情報を集めたり、直接聞いたりするなどして、学校に必要な情報を提供したり、人材をコーディネートしたりしてきた。センターからの人材提供には至らなかったが、センターの情報を学校が有効に活用して教育活動を進めることができた。  
 ○学習センターが地域情報の提供と発信の場となっている。  
 ●ボランティアに登録いただいても、学校からの派遣要請が無く、人材活用に至らない場合も多い。ボランティア登録いただいている方の高齢化が進んでいる。  
 ※期首面談の情報をもとに、ボランティアの確保に努めているが、教職員のニーズの違いによって、活用にばらつきがある。学校のニーズに合う時期に、再度要望の把握とボランティア情報の提供を行っていく。  
 ※継続的な地域人材の発掘に努めていく。

#### 5 活動、支援の様子



総合的な学習の時間・米づくりの指導～田起こし・田植え・稲刈り～(荒井小学校)



荒川ウォークボランティアガイドの指導(西信中学校)



生活科・西学習センター見学での支援(荒井小学校)



家庭科・バッグ作りでのミシン指導支援(佐原小学校)

<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No.11	信陵学習センター
対象校	大笹生小学校、笹谷小学校、信陵中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	大笹生小学校	4.28	○全学年、遠足・1年生を迎える会見守り	1	1	活動場所の予約業務と当日の見守り支援は恒例となっていて、継続を希望されている。
2		10.17	○図書室支援(電算化に向けた図書ラベル貼付作業)	1	3	学校からの要請に応じて、登録ボランティアを紹介することができた。
3		11.28	○全学年、ふれあい活動で、折り紙、絵手紙、切り絵、マジック、将棋、ユニカールの指導	6	6	発達段階に応じ、様々な体験活動に取り組ませることができた。
4	信陵中学校	7月~3月	○SR学級(3~9名)、絵画指導	5	32	7月から支援を開始したが、回を追うごとに生徒とボランティアのラポートがとれるようになってきた。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等	
				実人数	延べ人数		
1	大笹生小学校	5.3	○黒板アート作成(福島西高校デザイン科生徒・教員が連休中に作成)	6	6	素晴らしい黒板アートにふれ、間接的ではあるが、高校生との交流の機会となった。	
2		6.8	○全学年、発達段階に応じた食育授業 ※給食センター栄養士	2	6	系統的な指導により、食に対する意識を向上させることができた。	
3		6.13	○5・6年、野口英世出前授業 ※野口英世記念館職員	1	1	宿泊学習の事前学習として、有意義な学習ができた。	
4		7.18	○全学年、ICTに関する防犯の講話 ※県警少年サポーター	2	2	低学年と中高学年に分かれ、ICTに関連した犯罪に巻き込まれない方法を具体的に学ぶことができた。	
5		9.14	○全学年、学習支援 ※福大生ボランティア	1	12	個別指導を充実させることができた。大学生との交流の機会にもなった。	
6		10.17	○図書館ボランティア(電算化に向けた図書ラベル貼付作業支援) ※保護者	3	4	大量のラベル貼付をボランティアの協力のもと短期間で行い、ICT環境整備を進めることができた。	
7		11.14	○4年、栗本壇の学習(現地案内・説明・水質検査体験等)※土地改良区 県北農林事務所等	11	11	地域の用水路について現地調査を含めながら学習し、地域理解につなげることができた。	
8		11.15	○5・6年、生け花の歴史学習・生け花体験 ※池坊講師等	2	2	歴史学習との関連で、日本の伝統文化にふれる機会となった。	
9		12.19	○3年、ジャムづくり体験 ※JA職員 女性部	4	4	地域の特産であるりんごのジャム作りを体験し、食への意識向上を図ったり、地域理解につなげたりすることができた。	
10		1.31	○6年、薬物乱用防止教室 ※学校薬剤師	1	1	薬物乱用・依存の防止の必要性や方法を学び、防止への意識を高めることができた。	
11		2.7	○6年、認知症サポーター養成講座 ※信陵地区地域包括支援センター	7	7	認知症への理解を深め、具体的な支援の仕方や心得について学ぶことができた。	
12		4.18~2.20	○3年(3学級)、りんご栽培についての指導 ※果樹農家	1	21	りんご栽培についての学習を通じ、笹谷地区の特徴をよく理解することができた。	
13		9.27	○6年(3学級)、生け花についての指導	2	8	生け花の体験を通して、日本文化についての理解を深めた。	
14		笹谷小学校	10.21	○3年(3学級)、消防活動の説明・放水訓練やポンプ車の見学 ※地域消防団	22	22	地域の安全を守っている消防団の方々から直接話を聞いたり、見学したりすることで防火意識の醸成につながった。
15		10.24	○4年(3学級)、学校近辺の用水路についての指導 ※福島市土地改良区職員	4	12	用水路についての学習を通して、笹谷地区の特色を理解することができた。	
16		11.21	○3年(3学級)、りんごジャム作りについての指導 ※JAふくしま未来婦人部	10	22	ジャム作りを通して笹谷地区の豊かな自然環境について理解を深めた。	
17		信陵中学校	6.13~2.19	○SR学級 美術教室でキーホルダー作り	1	7	継続的な支援により、生徒どうしや生徒と講師との人間関係づくりに役立った。
18		9.15	○1年(5学級) 職業人に聞く会	9	9	2年生で実施する職場体験につなげることができた。	

2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	大笹生小学校	9.30~10.1	○地区文化祭での図工作品展示	0	0	児童の作品が展示されていることで、地域の方々の関心が高まった。
2	笹谷小学校	9.4~9.8	○2年(3学級)、生活科、学習センター見学	0	0	事前に連絡を取り合い、円滑に進めることができた。
3		9.30~10.1	○合奏部(17名)、地区文化祭への参加	0	0	文化祭での演奏は子どもたちにとって貴重な発表の機会となった。
4	信陵中学校	9.30~10.1	○吹奏楽部(20名)、合唱部(15名)、地区文化祭への参加	0	0	文化祭での演奏は生徒にとって貴重な発表の機会となった。

## 2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	大笹生小学校	4.17	○3年、りんご果樹栽培体験 ※保護者(りんご農家)※他2日間	1	3	全3回の体験を通し、地域の特産であるりんごの栽培について理解を深めることができた。
2		○6年、お年寄りとの交流学習 ※生愛会への施設訪問	多数	多数	施設との訪問交流を通して、様々な人とのかわりの大切さを学ぶことができた。	
3		○5・6年、商業科の学習体験 ※福島商業高校へ	多数	多数	商業高校を訪問し様々な職業的な体験を行い、将来に対する展望をもつことができた。	
4		○6年、ふくしまスカイパーク見学(施設見学・説明・体験等)	数名	数名	スカイパーク見学を通して、地域理解を深めることができた。	
5		2年、大福寺見学(説明・見学) ※大福寺住職	1	1	町探検の一環として、地域の寺を訪問し、地域理解を深めることができた。	

## 3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	3
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	2
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

## 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

- 学校の要請に沿って授業支援やボランティア活動を行うことができた。  
 ○中学校のSR学級支援は初めての試みであったが、ボランティアの方々の熱心なかわりにより、生徒とのラポートがとれるようになってきた。  
 ●中学校のSR支援については、ボランティアの方が有用感を感じ取れるフィードバックの方法を考えていく必要がある。  
 ●事業の趣旨や活動の様子について地域に伝える方策を検討していきたい。(※地区だよりでの紹介、館内掲示等)

## 5 活動、支援の様子



○地区文化祭への参加(笹谷小学校・信陵中学校)  
 合奏部、吹奏楽部、合唱部の発表は好評で、大ホールいっぱい観客が集まり、地域の方々の関心の高さがうかがえた。児童・生徒にとって発表のよい機会となっている。



○ふれあい活動での授業支援(大笹生小学校)  
 1年:折り紙 2年:絵手紙 3年:切り絵  
 4年:マジック 5年:将棋 6年:ユニカール  
 毎年行われている「ふれあい活動」では、各学年の児童との交流を通しながら、ボランティアが様々な活動の支援を行った。



○OSR学級支援(信陵中学校)  
 学習センターの利用団体である笹谷絵画クラブから数名がボランティアとして支援に当たっている。生徒は、自由画、塗り絵、切り絵などから興味のあるものを選び、表現活動に取り組んでいる。



○学習センター見学(笹谷小学校)  
 児童は館長や生涯学習指導員の説明を聞いたあと、利用団体の活動の様子を見学したり、図書室の本を閲覧したりした。利用者や職員との会話を通し、交流を図ることができた。



<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No.12	飯坂学習センター
対象校	飯坂小学校、平野小学校、湯野小学校、大鳥中学校、平野中学校、西根中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	大鳥中学校	7・5	○1年生(2学級) 職業人に聞く会	4	4	○自分たちの知っている地元企業の方の講話のため、興味をもって聞くことができた。
2	飯坂小学校	7・13	○3,4年生(4学級)流し踊りについて	8	8	○地域の伝統芸能に触れる貴重な機会となった。
3	飯坂小学校	9・19	○3年生(2学級)つるし雛づくり	8	8	○地域の伝統である「つるし雛飾り」に向けて展示するつるし雛づくりを行った。
4	飯坂小学校	6.21,9・6,10.4,11.22,2.7,2.12	○1~6年生(10学級)読み聞かせ	3	18	○学級の実態に応じた本を選んでいただいた。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	湯野小学校	5.1	○3・4年生(38名)春の遠足 学校から東湯野地区にかけての名所や遺跡等の説明。	1	1	○湯野地区ばかりでなく東湯野地区のことについて理解を深める機会となった。地区を深く知ることで地域を大切に誇りに思う機会ともなった。
2	湯野小学校	10・13	○全校なかよしオリエンテーリング(全校生)縦割り班で異学年との交流をしながら、地区の名所や史跡について学ぶ。	1	1	○地域への理解を深めることができた。ボランティアの見守りもあり、安心して活動することができた。
3	平野小学校	5・9・10・12月	○3年生(3学級)縦割り班で異学年との交流をしながら、地区の名所や史跡について学ぶ。	3	12	○地域への理解を深めることができた。ボランティアの見守りもあり、安心して活動することができた。
4	平野小学校	10・19	○4年生(3学級)井野目堰見学学習 水環境を守る会の講師より見学引率と講話での支援	4	4	○史跡について造詣の深い講師より講話をいただき、学区内の用水路等を見学することで地域理解が深まった。
5	平野小学校	7月・12月・2月	○1年生~3年生(各3学級)絵本の読み聞かせ	4	36	○大型紙芝居や絵本の読み聞かせをしていただき、読書への関心を一層高めて行くことができた。
6	大鳥中学校	6・26	○1年生(2学級)防災教育講話	1	1	○地区の消防署員の方に来ていただき、飯坂地区における取組や、自助・共助・公助など防災について学習することができた。
7	飯坂小学校	1.22	○1年生(2学級)昔遊びの会	10	10	○地域の昔遊び名人から昔遊びの仕方を習いながら、一緒に活動し交流を深めた。
8	飯坂小学校	7.16,12.7	○2年生(1学級)町たんけん	2	4	○保護者ボランティアの協力をいただき、施設見学や体験活動を通して地域を知ることができた。
9	飯坂小学校	6.22	○4年生(2学級)館の山散策・オリエンテーリング	2	2	○森の案内人をお招きし、飯坂の自然の素晴らしさを感じ取った。
10	飯坂小学校	6.15	○5年生(1学級)飯坂温泉に関する講話	1	1	○飯坂温泉観光協会の方より温泉に関する講話をいただき、地区への関心が高まった。
11	飯坂小学校	9.29,10.5	○6年生(2学級)飯坂の歴史、史跡等調査	1	2	○歴史保存会の方から、大鳥城址、医王寺の見学を行い、その歴史について知ることができた。

2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	湯野小学校	1・21	○「湯野子どもの集い」(湯野小学校・西根中学校・希望者対象)湯野地区青少年健全育成推進会・飯坂学習センターの共催。 小学生の標語・ふれあい川柳の表彰式、中学生緒職場体験発表・ニュースポーツ体験など	20	20	○地域を思う気持ち喚起する標語や川柳の募集をして、改めて地域への思いを持つことができた。また、ニュースポーツ体験を通して、親世代、祖父母世代との交流を持つこともできた。
2	平野小学校	11・25	○特設音楽部(35名)、地区文化祭への参加	0	0	○学習センターの総合文化祭で演奏を発表した。多くの地区の方たちに聴いていただき、貴重な発表の機会となった。
3	平野中学校	7・4~6	○2年生(3学級)職場体験活動	0	0	○職場体験時における事業所探しの教師の負担軽減となった。
4	大鳥中学校	6・26~30	○2年生(2学級)職場体験活動	7	14	○学区内もしくは近隣地域の事業所が7割以上協力していただき、体験したからこそ感じた仕事の楽しさや大変さを味わうことができた。
5	大鳥中学校	11・2	○家庭教育セミナー(保護者、教職員対象60名) 飯坂方部小中学校PTA連絡協議会	講師 2 15	講師 2 15	○4年ぶりの開催となった。「親子のコミュニケーション」の演題で講演を行った。親子だけでなく家族や地域のコミュニケーションについて改めて考えることができた。
6	大鳥中学校	11・25	○地区文化祭への作品展示	0	0	○学習センターの総合文化祭で作品展示を行った。地区の方に生徒の活動の様子が伝えられたのではないかとと思う。
7	飯坂小学校	9.14	○4年生(2学級)敬老会	1	1	○敬老会のアトラクションで、校歌とよきこい踊りを披露した。発表の良い機会となった。
8	飯坂小学校	2.16	○3年生(2学級)つるし雛がざりオープニングイベント	1	1	○オープニングイベントに参加し校歌披露と作品の展示を行った。地域の方とのふれあいの機会となった。
9	大鳥中学校	9.4~8	○2年生(1学級)職場体験活動	1	1	○生徒の興味関心や進路希望に合わせた体験学習を実施することができた。

## 2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	平野小学校	7・2	○全学年希望者対象 ひらの探検クリーン活動	22	22	○大人と子供と一緒にごみ拾い活動をしなが学区内の史跡巡りをし、地域の方々に講師をしていただいた。参加児童は少なかったが、改めて地域の歴史や良さについて知る良い機会となった。
2	平野中学校	5・8、10 11・5	○果樹栽培体験学習	1	3	○地域の特産品等について理解を深めた。
3	平野中学校	7・5	○認知症サポーター養成講座	10	10	○地域の一員としての意識を高めることができた。
4	平野中学校	10・8	○平野地区運動会(全学年から希望者) 運動会補助	0	0	○地域の一員としての意識を高めることができた。
5	平野中学校	12.15	○文化部、平野地区展覧会	0	0	○作品展示と共に展覧会準備補助を行った。地域の一員としての意識を高めることができた。
6	大鳥中学校	7・11	○3年生(2学級)福祉活動	4	4	○福祉体験を通して、福祉に対する興味・関心を高めることができ、身近にいるお年寄りに対し、接し方を工夫しようとする生徒が増えた。
7	大鳥中学校	5・22~10・22	○特設剣舞部	1	12	○八幡神社秋季例大祭や文化祭で多くの方の前で発表できたことは生徒たちの大きな自信につながった。 ●徐々に部員数が減っており、部員の確保に課題がある。
8	大鳥中学校	8・25~10・22	○特設太鼓部	3	31	○保存会の方との練習を通じ、自主的に活動する生徒が増えた。例大祭や文化祭で発表することにより、自己肯定感が高まった。
9	飯坂小学校	5.12	○5~6年生(3学級) 創立150周年記念飯坂町鼓笛パレード	8	8	○保護者交通整理ボランティアの協力のもと、鼓笛パレードを行うことができた。
10	西根中学校	4.26	○1年生(1学級)生産体験活動 りんごの受粉作業	1	1	○地域に根ざした体験活動を行うことができた。
11	西根中学校	9.13	○1年生(1学級)生産体験活動 りんごの絵付け	1	1	○生徒にとって、農業への理解と関心を向上させることができた。
12	西根中学校	11.8	○1年生(1学級)生産体験活動 りんごの収穫	1	1	●今年度は事故の発生などはなかったが、農作業は危険を伴うため、引き続き安全を確保する対策を講じる必要がある。

## 3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

## 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

- 趣旨を理解していただき、昨年度よりも更に学校との連携を図る機会が増えた。
- 学校と協力して活動することにより、地域のボランティアの人材発掘につながった。
- 総合文化祭や地区展覧会で幼・小・中学校の作品展示を行うことにより、多く地域の方々に見ていただき、地域との交流も図れた。
- 学校独自で依頼しているボランティアがいるので、学習センターを通して依頼する機会が少なくなる。
- 「学校現場においては、突発的に人材が必要になることがほとんどであり、また需要と供給がうまく結びつかないことが多く、依頼を躊躇してしまうことがある」という意見をいただいた。
- ※ 気軽に連絡を取り合う雰囲気や提出システムの簡略化を図っていくことが大切になってくるのではないかと。
- ※ 例えば学校とボランティア名簿を共有して、支援できる内容について学校でも把握しておくこと、依頼が増えるのではないかと。

## 5 活動、支援の様子



湯野世代間交流(湯野小学校・西根中学校)

総合文化祭オープニングコンサート(平野小学校)



<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No.13	松川学習センター
対象校	松川小学校、金谷川小学校、下川崎小学校、松陵中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	松川小学校	1.26	1学年・3学級・「まつかわ民話の会」による昔遊びの指導(生活)金谷川小・下川崎小1学年も参加。	11	11	昔遊びの楽しさを味わい地域ゲストとふれあいをもった。1年生同士の交流を図ることができた。
2		9.13	2学年・3学級・松川学習センター図書見学(生活)	3	3	司書の講話と図書室内自由見学により、図書館の機能や働く人の役割等理解することができた。
3		9.27	2学年・3学級・松川小学校学区内探検児童活動補助(生活)	5	5	各グループの活動に付き添い、いろいろな店や施設への見学や調査が安全・充実したものとなった。
4		6.16	3学年・3学級・「まつかわと花案内入」の方から「あじさい祭り」についての話を聞く。(総合)	3	3	様々な実物の提示や講話により郷土への理解と積極的に関わってきたいという意欲が高まった。
5		11.14	3学年・3学級・八町連合と五町連合の方から「松川提灯祭り」についての話を聞く。(総合)	2	2	祭りの歴史や運営等についての話を聞き郷土への理解と積極的に関わろうとする意欲が高まった。
6		7.5	4学年・2学級・松川支所と学習センターを見学し、職員から地域防災についての話を聞く。(社会)	3	3	施設の見学と、現場の任事に実際に携わる職員の話聞くことで地域防災への理解が深まった。
7		9.19	4学年・2学級・環境アワードバイザーを講師に、水原川の水质調査や水生生物の観察を行った。(総合)	1	1	フィールドワークにより水原川の環境への理解が深まることにも環境保全への意識が高まった。
8		8.31	特別支援学級・3学級・学七指導員を講師としてシャボン玉・空気砲・ブーメランなどを作って遊んだ。(自立活動)	1	1	普段作れない大きなシャボン玉に子どもたちは大興奮。身の回りの事象に興味をもって楽しんだ。
9	金谷川小学校	5.19~2.2	1学年・1学級・お話会 絵本の読み聞かせ(朝の時間)	1	8	絵本を読んでもらい本に親しむことができた。
10		1.26	1学年・1学級・「まつかわ民話の会」による昔遊び(生活)松川小において松川小・金谷川小・下川崎小1学年参加。	11	11	昔遊びの楽しさを味わい地域ゲストとふれあいをもった。1年生同士の交流を図ることができた。
11		5.26~2.16	2学年・1学級・お話会 絵本の読み聞かせ(朝の時間)	1	8	絵本を読んでもらい本に親しむことができた。
12		6.27	全学年・6学級・全校おはなし会 下学年1回 上学年1回 絵本や大型絵本の読み聞かせ	6	10	読書への関心を高めることができた。
13	下川崎小学校	1.26	1学年・1学級・「まつかわ民話の会」による昔遊び(生活)松川小において松川小・金谷川小・下川崎小1学年参加。	11	11	昔遊びの楽しさを味わい地域ゲストとふれあいをもった。1年生同士の交流を図ることができた。
14		12.6	2学年・1学級・松川支所・松川学習センター・松川学七図書室の見学(生活)	5	5	施設の見学や講話を通して公共施設の機能や働く人の役割について理解を深めることができた。
15		5.22	3学年・1学級・「ごんべん参の会」の指導によるごんべん参の種まき(総合)	3	3	地域で取り組んでいるごんべん参について知るとともに種まき体験を通して栽培への意欲を高めた。
16		2.2	4学年・1学級・和楽器(箏)の演奏体験及び生演奏の鑑賞(音楽)	1	1	箏は1人1面ずつ用意。箏に直接触れたり音色に親しみ演奏したりすることができた。
17		10.17 10.24	5学年・1学級・ミシンを使った作品作り(家庭)	3	6	丁寧な指導により、ミシン操作や作品作りをスムーズに進めることができた。
18		11.2	5学年・1学級・つるし雛作りの指導(総合)	2	2	ボランティアとの交流やつるし雛作り体験を通して地域の伝統文化の大切さを感じることができた。
19		2.2	5学年・1学級・和楽器(箏)の演奏体験及び生演奏の鑑賞(音楽)	1	1	4年生での体験を生かした活動ができ、より楽しく演奏することができた。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	松川小学校	5.16	5学年・3学級・地域の方の指導による田植え(総合)	3	3	事前に環境を整え、手本や適切なアドバイスにより充実した活動となった。
2		6.12	5学年・3学級・地域の方の指導による大豆の選別と豆まき(総合)	3	3	豆の選別の仕方や豆をまく時の深さや感覚についての指導により上手に豆まきをすることができた。
3		9.25	5学年・3学級・地域の方の指導による稲刈り(総合)	3	3	稲の刈り取り方や束ね方などの指導により安全で充実した活動を行うことができた。
4		11.9 1.11	5学年・3学級・地域の方の指導によるもち粉クッキング(総合)※学級ごとに実施	3	3	自分たちが育てたもち米を使って調理する活動を通して収穫の喜びを味わうことができた。
5	金谷川小学校	2.6	1学年・1学級・まつかわ幼稚園見学(生活)	2	2	園児と関わることで児童自身が自分の成長を感じることができた。
6		10.17	2学年・1学級・まつかわ幼稚園見学(生活)	2	2	幼稚園の先生からの話を聞いて先生方の工夫を知ることができた。
7		4.19	4学年・1学級・リンゴの花の受粉作業の見学(総合) 近隣のリンゴ畑	1	1	リンゴ栽培の重要な作業について理解を深めることができた。
8		9.5	4学年・1学級・リンゴの花の摘果受粉作業の見学(総合) 近隣のリンゴ畑	1	1	リンゴ栽培の重要な作業について理解を深めることができた。
9		11.22	4学年・1学級・リンゴの花の収穫作業の見学(総合) 近隣のリンゴ畑	1	1	リンゴ栽培の重要な作業について理解を深めることができた。
10		12.19	4学年・1学級・収穫したりんごを使ったジャム作り(総合)	4	4	りんごの活用について理解を深めることができた。
11		5.31	5学年・1学級・パテツ稲植え付け(総合) 自分のパテツ稲栽培を開始し水稲栽培についての説明を受講。	1	1	稲作の重要な作業について理解を深めることができた。
12		10.2	5学年・1学級・稲刈りの見学(総合) 近隣の水田を見学し、稲刈りについて載せ名を受講。	1	1	稲作の重要な作業について理解を深めることができた。
13		11.27	5学年・1学級・米粉を使っただんご作り(総合) 米粉を使用した調理実習の体験	1	1	稲作の文化や食育とのつながりについて理解を深めることができた。
14		10.3	6学年・1学級・生け花体験(総合)	4	4	日本の伝統文化に触れ、理解を深めることができた。
15		下川崎小学校	11.2	1・2学年・2学級・木工クラフト体験(生活)	1	1
16	11.2		6学年・1学級・地域の歴史巡り(総合)	1	1	新たな気づきや発見があり、地域をより大切にしようとする心情が高まった。
17	松陵中学校	5.23	1学年・3学級・本の読み聞かせ(朝の読書の時間)読み聞かせの会「つばさ」による絵本の読み聞かせ	3	3	絵本の内容を学年の発達段階に合わせて選定したことで、生徒の興味・関心が高まった。
18		5.31	2学年・3学級・本の読み聞かせ(朝の読書の時間)読み聞かせの会「つばさ」による絵本の読み聞かせ	3	3	絵本の内容を学年の発達段階に合わせて選定したことで、生徒の興味・関心が高まった。
19		6.5	3学年・4学級・本の読み聞かせ(朝の読書の時間)読み聞かせの会「つばさ」による絵本の読み聞かせ	4	4	絵本の内容を学年の発達段階に合わせて選定したことで、生徒の興味・関心が高まった。

## 2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	松川小学校	10.28~29	松川地区文化祭(絵画・書写作品等の展示)	0	0	児童・生徒の作品の展示により学習の成果を発表する良い機会となり、地域の方々に見ていただくことで学校の教育活動への関心を高め、子どもたちの活動への理解を得ることができた。学習センターとしても文化祭を盛り上げていただいた。
2	金谷川小学校	10.28~29	松川地区文化祭(絵画・書写作品等の展示)	0	0	
3	下川崎小学校	10.28~29	松川地区文化祭(絵画・書写作品等の展示)	0	0	
4	松陵中学校	10.28~29	松川地区文化祭(絵画・書写作品等の展示)	0	0	

## 2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	松川小学校	11.8	3学年・3学級・小鳥の森の指導員と鳥の巣箱を作り、土合館公演に設置した。	4	4	巣箱作りや高所への設置など、普段なかなか体験することのできない学びの機会となった。
2		11.2	6学年・2学級・土合館公園での森林環境学習	10	10	土合館公演を森林環境という観点から再認識することができた。
3	松陵中学校	6.29	全学年・全生徒・各専門委員会ごとの地域交流活動	20	20	地域の良さを再認識し、地域との関わり大切さについても考えを深めることができた。
4		9.6	前期生徒会役員(7名)・今後の地域交流について考える会 R7義務教育学校に向け専門的分野の方からの助言	3	3	生徒の考えの実現に向けて助言があり生徒がより主体的に地域と関わろうとする意欲が高まった。
5		9.7	1学年・3学級・働く人に話を聞く会「地域ゲストを招き、働く人の大切さややりがい、意義について学習。」	10	10	生徒の職業観について考えを深めた。希望する職業とマッチングする人材発掘が必要。

## 3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

## 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○学校支援活動については、学校の要望に応じて、ニーズに合ったゲストやボランティアをコーディネートすることができた。  
 ○事業の目的や運用について、昨年度よりも学校と学習センターとの共通理解が進んだ感触を得ることができた。  
 ○実施内容は継続のもの・新規のものがあり、広くゲストを求めた。依頼に誠実に応えてくださったゲストの方々への感謝と共に、今後のお力添えを呼びかけたところ、窓口で学校支援ボランティアの申し出が複数あり、嬉しい驚きだった。  
 ○センター見学があったが、合築館であることを生かし、学習センターや図書室だけでなく職員や支所長に講話をいただくなど支所の協力も得ることができた。  
 ○本事業の周知のため学習センター運営審議会で事業報告を行った。委員の皆さんにも周知へのご協力をお願いした。地区だよりに令和3年度からの地区内における本事業の実践例を載せ、広く周知を図った。事業に協力いただいた地域の方々への感謝と共に、今後のお力添えを呼びかけたところ、窓口で学校支援ボランティアの申し出が複数あり、嬉しい驚きだった。  
 ○●期首校長面談時に年度を見通した要望について知らせていただけるよう各学年に用紙をお渡しした。年度始めに年間の動きを把握できるとゲストも早めに準備できコーディネートを進めやすい。学校内の取りまとめの動きは学校によって様々だが、突発的に来る要望もある。できる限り応えているが、ゲストに負担をかける。学校の事情も分かるので、予想できるものについてはできるだけ早めに声をかけていきたい。  
 ※令和7年度義務教育学校開校に向けて、各校と連携を図り、各学校のこれまでの実践を集約し、地域の財産として今後の活用につなげられるよう取り組んでいきたい。

## 5 活動、支援の様子



松川・金谷川・下川崎小1年合同「昔遊び」



松川小2年「町たんけん」



松川小3年「提灯祭り」



松川小4年「水原川フィールドワーク」



下川崎小2年「支所・学セ・図書室見学」



下川崎小3年「ごんべにんじん栽培」



下川崎小5年「つるし雛」



下川崎小4・5年「和楽器(箏)」

<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No.14	信夫学習センター
対象校	大森小学校 平石小学校 平田小学校 鳥川小学校 信夫中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	大森小学校	6.15	〇1年(4学級) 生活科、花の苗植え	3	3	植え方だけでなく、花壇づくり、畝づくり、苗の選別もやっていただき、非常にありがたかった。
2	大森小学校	10.23~11.15	〇5・6年(4学級) 家庭科、ミシン実習	7	32	ミシンの操作だけでなく、ミシン調整や児童支援にあたっていただきスムーズに学習を進められた。
3	大森小学校	1.25	〇3年(4学級) 社会科、昔の生活と道具	8	8	昔の道具に興味関心をもち、説明や体験を通して質問をしたり道具を扱ったりする姿が見られた。
4	平石小学校	10.26	〇5・6年(1学級) 平石地区の歴史と史跡巡り	3	3	平石の歴史と日本の歴史とを照らし合わせて考える児童の姿が見られた。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	平石小学校	5.2, 10.3, 12.1	〇3・4年(1学級) 果樹園見学・リンゴ栽培と出荷	1	3	平石の気候とリンゴの育て方の工夫や苦労について学ぶことができた。
2	平石小学校	5.10	〇全学年(3学級) 田植え体験	4	4	稲の育ち方や泥の感覚等について、理解したり体感したりすることができた。
3	平石小学校	9.26	〇全学年(3学級) 稲刈り体験	4	4	稲の育ち方や稲を刈る感覚等について、理解したり体感したりすることができた。
4	平石小学校	9.4, 10.11	〇3・4年(1学級) 案山子たてと撤去	1	2	ボランティアと共に豊作の思いを込めて案山子を立てたことで、心の通い合いが生じた。
5	平石小学校	10.10	〇全学年(3学級) 畑で野菜作り体験	1	3	畑の世話をする大変さややりがいについて、理解したり体感したりすることができた。
6	平石小学校	9.28	〇全学年(3学級) 地域高齢者との交流会	7	7	高齢者に優しく接する児童の姿が見られ、誰に対しても相手の気持ちを考えて接する児童が増えた。
7	平石小学校	11.10	〇全学年(3学級) 野菜とお米の収穫祭	5	5	学習ボランティアに感謝の気持ちを、児童が中心になって主体的に伝えることができた。
8	平石小学校	11.6	〇3・4年(1学級) ため池見学	2	2	ため池が農業にどのように役立っているのか、実際に見て話を聞くことで理解が深まった。
9	鳥川小学校	5.19~2.16	〇図書整理(図書ボランティア)	3	21	常に図書が整理されている状態を保つことができていた。
10	鳥川小学校	11.19~12.12	〇学校図書館電算化に伴う背ラベル張り(図書ボランティア)	9	14	毎週作業にあたっていただき、予定通り完了することができた。
11	平田小学校	5.15, 5.22, 10.3, 10.24	〇5年(1学級) 総合的な学習 平田んぼ(水稲栽培)学習 代掻き・田植え・稲刈り・脱穀	2	8	水稲栽培の流れを体験しながら学習し、米作りのための工夫や努力について学ぶことができた。
12	平田小学校	5.24	〇6年(1学級) プール清掃(PTA、教職員)	5	5	児童と教職員だけでは困難な作業である。ボランティアの協力により効率よく作業を進めることができた。
13	平田小学校	6.20, 10.24	〇図書ボランティア読み聞かせ	5	10	朝の読書タイムに各学級で読み聞かせをしていた。発達段階に応じた内容の本を選んでいただき、児童は興味深く話に引き込まれていた。
14	平田小学校	7.3	〇5年(1学級) 総合的な学習 平田のよさ(菊づくり)学習	1	1	菊づくり農家を訪問し、楽しさや苦労などについてインタビューしたことで、地域の農業についての理解と関心を深めることができた。
15	平田小学校	8.30, 8.31, 9.5	〇学校図書館環境整備	9	12	学校図書館の電算化に伴う図書整理をしていただいた。教職員だけでは作業しきれない面を支援していただき、大変助かった。
16	平田小学校	9.5	〇5年(1学級) 総合的な学習 平田のよさ(小倉太鼓)学習	1	1	地域の和太鼓について説明を加えながら、演奏技法を指導していただき、地域の文化化についての理解と関心を深めることができた。
17	平田小学校	9.1, 9.25, 11.14	〇3・4年(1学級) 総合的な学習 平田のよさ(花野山プロジェクト)学習 花野山学習、サツマイモ掘り、花野山プロジェクトプレゼン	1	2	花野山の見学や体験を通して、地域をよりよくするための工夫や努力について理解を深め、関心を持つことができた。
18	平田小学校	9.13, 10.27	〇6年(1学級) 家庭科(ミシン)学習	1	2	ボランティアの協力により、教員だけでは目が行き届かないところを支援していただき、安心して学習を進めることができた。
19	平田小学校	11.28, 12.11	〇2年(1学級) 生活科 町たんけん	3	6	ボランティアの協力により、教員だけでは目が行き届かないところを支援していただき、安心して学習を進めることができた。
20	大森小学校	11.27	〇4年(4学級) こけし制作	2	2	森林についての学習としてこけしづくりを行い、地域文化への理解が深まった。
21	大森小学校	11.19	〇5年(3学級) 新聞について学ぶ(福島民報社)	2	2	新聞発行についての理解を深めることができた。
22	大森小学校	1.18	〇2年(3学級) 町探検	7	7	保護者の協力で町探検の見守りをしていただいた。
23	信夫中学校	6.26~6.28	〇2年2名 中学生ドリームアップ事業「職場体験活動」	3	3	信夫学習センターでの体験活動を通して、業務内容について理解を深め、地域へ貢献することの大切さを知ることができた。

## 2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	大森小学校	7.25	○教職員地域学習 大森城山の環境と歴史	2	2	今年度が初めての依頼で、学校の要望に応じボランティアを紹介することができた。
2	大森小学校	10.16	○2年生(3学級) 学習センター訪問、施設見学	1	1	図書室や各部屋の説明を聞き、学習センターの仕事について理解を深めるための支援を行った。
3	鳥川小学校	10.25	○6年生(2学級) 茶道・お琴・歴史教室	11	11	日本の伝統文化に興味を持ち、総合的な学習の時間に生かすことができた。
4	平石小学校	6.8	○教職員地域学習 平石地区の環境と歴史	3	3	平石の歴史を学んだことで、今後地域をどのように活性化していったらよいか考えることができた。
5	平石小学校	11.20	○5・6年生(1学級) 茶道・お琴体験教室	7	7	日本文化に触れることで、児童一人一人の歴史や文化に対する理解が深まった。
6	平田小学校	5.15	○教職員地域学習 平田地区の環境と歴史	2	2	本校校区内の史跡、名跡について現地にて説明していただき、地域の歴史や文化についての理解を深めることができた。
7	平田小学校	11.10	○2年生(1学級) 学習センター訪問、施設見学	1	1	地域の学習センター・図書館の公共機関について、説明を受けながら見学したことで、理解を深め関心を高めることができた。
8	平田小学校	11.20	○5・6年生(2学級) 茶道・お琴体験教室	7	7	文化財住宅見学、茶道体験、琴体験など、日本文化に直接触れる機会となった。
9	信夫中学校	10.21	○吹奏楽部28名 学習センター文化祭 開会式演奏	0	0	地域の行事に参加することで、地域の一員として誇りをもって演奏した。

## 2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	鳥川小学校	6.5~11.20	○3年(2学級) リンゴ栽培学習「受粉・芽かき・収穫」	2	6	リンゴづくりのために農家の方が工夫していることについて理解することができた。
2	鳥川小学校	10.6	○2年(3学級)鳥川地区まち探検	18	18	子供たちの計画に沿いながら、安全に活動することができた。
3	鳥川小学校	12.8	○3年(2学級)リンゴジャムづくり	6	6	収穫したリンゴでジャムをつくり、食の大切さに気づいた。
4	鳥川小学校	2.14	○3年(2学級)成友屋敷見学	2	2	地域の名所や昔の鳥川地区の様子を知り、自分たちの住む地域を大切にす気持ちをもつことができた。
5	鳥川小学校	2.21	○3年(2学級)観音寺見学	1	1	地域の名所や昔の鳥川地区の様子を知り、自分たちの住む地域を大切にす気持ちをもつことができた。
6	平田小学校	8.14	○平田夏祭り			地域の各種団体の協力により、活気のある夏祭りを安全に実施することができた。
7	大森小学校	6.7~6.15	○4年(4学級) 明成高校果樹園での摘果作業体験	20	20	明成高校生との交流ができた。
8	大森小学校	11.15	○3年(4学級) 消防団活動見学	15	15	体験を通して消防団の仕事内容や大変さを理解した。
9	信夫中学校	8.20	○家庭部4名 城山ふれあい広場ボランティア活動	4	4	地域とのかかわりを深めることができ、意欲をもって活動に参加した。
10	信夫中学校	12.16, 12.23	○家庭部および希望者13名 城山ふれあい広場ボランティア活動	13	13	違う世代との触れ合いを通して、コミュニケーションを深めることの大切さを体得した。

## 3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

## 4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○小学校4校に対するのコーディネートは順調であった。小学校独自で行っている学校支援も多かったが、支援の日程を教えてください、見学に行くこともできた。

○支援後に児童から手紙をもらい、支援ボランティアの方々に渡して喜んでもらった活動があった。

○学校側で年度のはじめに年間予定に組み込んでいる活動は、早くからコーディネートに動けた。ボランティアの方々の協力も得やすかった。

●日時が近くなってからのコーディネートの依頼は、コーディネートできたとしてもボランティア登録が難しい場合がある。また、団体への支援依頼だと、支援ボランティアのメンバーが急に変更になり、ボランティア登録ができないこともある。

●学校支援ボランティアの高齢化が進み、支援の継続が危ぶまれる事業がある。

※期末面談で、地域の方々に子供たちの姿を見てもらうために小中連携してのあいさつ運動を支部校長会で提案してみると、中学校長より話があった。小学校長との面談では、年度初めに学習センターのコーディネートの必要なるものをまとめたりできないか話題にした。

<b>【様式4】</b>	<b>令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価</b>
No.15	吾妻学習センター
対象校	野田小学校、庭坂小学校、庭塚小学校、水保小学校、野田中学校、吾妻中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	庭塚小学校	10.12.26(5年)	5年(1学級)家庭科「ミシン学習」指導	2	8	きめ細かく指導いただき、しっかりと作品を作り上げることができ、技能も向上した。(5年) 2年目の指導であったので、コミュニケーションを取りながら、時間内できちんと作品を仕上げることができた。(6年)
		11.13.20(6年)	6年(1学級)家庭科「ミシン学習」指導			
2	庭坂小学校	9.22(5年) 11.6(6年)	5年(2学級)家庭科「ミシン学習」指導	2	4	担任の個別支援の負担が軽減され、充実した指導ができた。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	野田小学校	通年	図書ボランティア	15	51	、司書と協力して、書架の整理や本の修理など図書室環境を整えることができた。
2		6・7月	1～6年体育科「プール学習」指導見守りボランティア	28	28	保護者によるプール学習中の見守りにより、安全に指導することができた。
3		1・2学期	芝生整備ボランティア	5	10	中庭の芝生をきれいに保つことができた。
4		1・2学期	4年(4学級)「萱場梨の学習」指導	1	1	地域で栽培されている萱場梨について、見学や体験を通して学ぶことができた。
5		6.12	3年(4学級)「昔話の伝承」指導	1	1	地域に伝わる昔話を聞き、地域に対する関心や愛郷心を高めることができた。
6		2学期	5年(4学級)家庭科「ミシン学習」指導	8	8	ミシン学習の補助により、作品づくりのための技能の向上と保護者との交流を図ることができた。
7		1.16	3年(4学級)どんと祭りの伝承指導	1	1	大原神社で行われるどんと祭りについて聞き、地域に対する関心や愛郷心を高めることができた。
8	野田中学校	8.28～9.1	2年職場体験学習	44	52	3日間であったが、各職場でそれぞれに有意義な活動を体験することができた。
9	吾妻中学校	4月から11月	3年(3学級)学校敷地内の名その栽培	4	4	地域のボランティア及びJAの方々の指導により、梨の栽培について学習するとともに、働く苦労も学ぶことができた。
10		12.16	2年(2学級)韓国の文化・料理の学習	1	5	地域の韓国籍の方(料理店経営)から食文化を中心に学習し、大変好評であった。
11		9.6	1年(2学級)「仕事」「働く」ことの学習	11	16	地域の企業の方々に来ていただき、進路選択に向けて、様々な職業について知るとともに、働くことについての理解を深めた。
12	水保小学校	4月から11月	3年(1学級)りんご農家の調べ学習	1	7	計7回実施。ていねいに指導をいただき、意欲と理解が高まった。
13		6.28	6年(2学級)茶道体験	8	8	茶道や和食の作法などについて、貴重な体験をすることができた。
14		11.16	4年(1学級)土船簡易水道施設見学	4	4	社会科「郷土を開く」の学習に生きるよい体験学習ができた。
15		11.18	全学級(6学級)昔遊び	9	9	地域の方々や保護者が講師となり、親切・ていねいに教えていただき、楽しく活動できた。
16		1.23	5・6年(2学級)スキー教室	8	8	地域の方々や保護者が講師となり、親切・ていねいに教えていただき、けがなく楽しく活動できた。
17		5.27	全学年(13学級)学校行事「運動会」での会場準備・片付け、写真撮影、審判などの協力	22	22	本校はPTA組織が存在しないため、協力が必要なときにボランティアを募っている。、安全かつスムーズに行事を進めることができた。
18	7.3～7.18	全学年(13学級)体育科の水泳学習での安全監視	4	15	監視体制の充実により、担任が指導に集中して取り組むことができるようになった。	
19	庭坂小学校	9.21	4年(2学級)社会・総合「砂防ダムの役割」についての学習	1	1	専門家から話を聞き、吾妻地区の安全は、様々な支えによって成り立っていることについて理解することができた。
20		10.12	6年(2学級)総合・道徳「花育」の学習	3	3	生け花体験で直接「もの」に触れることを通じて、自己の考え方を見つめる意識を高めることができた。
21		11.2	3年(2学級)防災教室での「自分ができる防災」の体験学習	8	8	消防署員や消防団の方々の指導により、身近な物で自分の身を守る方法など具体的な自助の方法などを体験し、防災に対する意識をより強めることができた。
22		12.14	6年(2学級)薬物乱用防止教室	3	3	身近な薬でも扱い方を間違えれば、悪影響を及ぼすことも知り、身近な問題になり得るという意識を高めるとともに、あらゆる誘惑に負けない意思を持つ気持ちを高めることができた。
23		2.5～2.8	図書室整備(学校図書の電算化に伴う新しい背ラベル貼り)	13	20	多く保護者の協力により職員作業の必要がなくなり、職員は校務運営に集中することができた。

2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	野田小学校	11.1、9	2年(4学級)吾妻学習センター・図書室見学	2	4	学習センターの施設見学や図書室での本を借りる体験を通して、公共施設利用の学習につなげることができた。

2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	野田小学校	6月	6年(4学級)「町の生活を支える人々」の学習支援	2	8	市商工観光部の方から福島市のことや調べ方を学び、学習発表会のグループ調べに生かすことができた。
2		2学期	2年(4学級)生活科「まちたんけん」補助	16	16	ボランティアによる町探検時の安全確保を行うことで、安全に地域の人々と交流することができた。
3	野田中学校	年間	全学年 有価物回収			今年度は、収益で駐在所と郵便局へプランターに花を植えて届けることができた。
4	吾妻中学校	1月~2月	全学年 降雪日の学校前歩道の除雪	15	15	除雪作業を通して、地域や他の人のためにという心を育てることができた。今後も活動人数を増やし継続したい。
5	水保小学校	8.12 11.18	全学年 第1回水保プロジェクト(お化け屋敷)	7	7	2回とも、多くの地域の方々に協力をいただき、充実した活動を行うことができた。子どもたちにも大好評であった。
			全学年 第2回水保プロジェクト(もちつき)	8	8	

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

- 学校の要請に応じたボランティアの派遣を行うことができた。子どもたちからのお礼の手紙もボランティアに喜んでもらった。
- 面談等で学校の状況や思いを把握し、各校に合った取り組み方や地域とのかわり方について共通理解を図ることができた。
- 「学校から地域へ、学校の取組を発信する場がほしい」という学校からの要望に応じて、学習センターロビーに「学校から地域へ発信コーナー」の設置準備中である。(掲示パネル1~2枚)
- 学校への働きかけだけでなく、地域へのアプローチも積極的に行い、地域が学校に求めていること、子どもたちに参加してほしいことなどを把握し、学校へつなげていきたい。

5 活動、支援の様子

庭塚小学校 家庭科「ミシン学習」指導



【様式4】	令和5年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価
No.16	飯野学習センター
対象校	いいの認定こども園、飯野小学校、飯野中学校

1-(1) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	いいの認定こども園	5.11、1.29	3・4・5歳児 3学級 交通教室・横断歩道の渡り方	4	8	飯野駐在所所長の紙芝居が分かりやすかった。園児たちが着ぐるみと歩道を渡り、楽しく学ぶことができた。
2	飯野小学校	11.2、11.16	クラブ活動(ボードゲームクラブ10名)将棋教室:基本指導と実践指導	3	5	楽しく活動できたが、将棋スキルに差があり、対応が難しかった。
3	飯野小学校	11.8	6学年2学級 社会科歴史 水墨画教室・水墨画の歴史と水墨画指導	2	2	描くことで水墨画の奥深さを学ぶことができた。
4	飯野小学校	11.20,21	3学年～6学年 6学級 書きぞめ教室:書きぞめの基本指導	0	0	講師(謝金あり)として依頼している。基本をていねいに指導、わかりやすく短時間で上達した。
5	飯野小学校	1.12	6学年2学級 社会科歴史「戦争体験を聞く」(戦時中の家庭生活と学校生活)	1	1	当時の教科書や写真が有効的で理解を深めることができた。
6	飯野小学校	2.1	3学年算数科「そろばん教室」学級数2 そろばんの基本指導	0	0	講師が体調不良のため指導員が授業を行った。高齢化対策が急がれる。
7	飯野中学校	9.25	文芸部 部活動 部員数10名 デジタル一眼レフカメラの撮影基礎	1	3	講師が体調不良のため指導員が授業を行った。高齢化対策が急がれる。

1-(2) 学校支援活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で対応)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	飯野小学校	5.16	田んぼの学習(5年・2学級・田植え)	2	4	稲作についての理解を深めることができた。
2	飯野小学校	5.18	野菜作り(2年・1学級・さつまいも植え付け)	1	1	さつまいも作りについての理解を深めることができた。
3	飯野小学校	6.9	地域学習(3年・1学級・飯野町伝統調べ)	1	1	地域の名所についての理解を深めることができた。
4	飯野小学校	6.16	地域学習(3年・1学級・飯野町伝統調べ)	1	1	地域の名所についての理解と郷土愛を深めることができた。
5	飯野小学校	6.19	栽培活動(6年・2学級・エレファントガーリック収穫)	5	5	エレファントガーリックと町おこしについて理解を深めることができた。
6	飯野小学校	9.6	地域学習(3年・1学級・飯野町伝統調べ)	1	1	地域の名所についての理解と郷土愛を深めることができた。
7	飯野小学校	9.14	地域学習(3年・1学級・お祭り太鼓体験)	5	5	地域の伝統についての理解を深めることができた。
8	飯野小学校	9.21	縄文土器作り(6年・2学級・縄文土器作り)	3	6	土器作りの体験を通して、縄文文化への理解を深めることができた。
9	飯野小学校	9.27	地域学習(3年・1学級・伝統遊び)	1	1	地域の伝統についての理解を深めることができた。
10	飯野小学校	9.29	栽培活動(5年・2学級・エレファントガーリック植え付け)	5	5	エレファントガーリックと町おこしについて理解を深めることができた。
11	飯野小学校	10.11	田んぼの学習(5年・2学級・稲刈り)	2	4	稲作についての理解を深めることができた。
12	飯野小学校	10.12	地域学習(3年・1学級・お祭り太鼓体験)	5	5	地域の伝統についての理解を深めることができた。
13	飯野小学校	10.23	養蚕体験(4年・1学級・蚕糸系取り、絹糸を活用した小物づくり)	3	3	飼育した蚕様の糸を活用してミサンガなどの小物を作成することで、養蚕業への理解を深めることができた。
14	飯野小学校	10.24	野菜作り(2年・2学級・さつまいも収穫)	1	1	さつまいも作りについての理解を深めることができた。
15	飯野小学校	10.31	養蚕体験(4年・1学級・蚕糸系取り)	1	1	飼育した蚕様の糸を通して、養蚕業への理解を深めることができた。
16	飯野小学校	11.1	養蚕体験(4年・1学級・蚕農家講話)	2	2	直接養蚕農家に話を聞くことで、養蚕業への理解が深まり、郷土愛を育むことができた。
17	飯野小学校	11.21	田んぼの学習(5年・2学級・脱穀)	1	2	稲作についての理解を深めることができた。
18	飯野小学校	11.21	地域学習(5年・2学級・伝統食づくり)	1	1	まゆ団子づくりを通して地域の伝統について理解を深めることができた。
19	飯野小学校	11.22	縄文土器作り(6年・3学級・縄文土器野焼き)	3	6	土器作りの体験を通して、縄文文化への理解を深めることができた。
20	飯野小学校	11.29	おにぎりコンテスト(6年・2学級・食育、調理実習)	3	3	おにぎり作りを通して地産地消、郷土愛への理解を深めることができた。
21	飯野小学校	11.30	法務支援センター出前授業(6年・2学級・人権教育)	2	2	実例を踏まえ人権尊重について理解を深めることができた。
22	飯野小学校	12.6	民話学習(2年・1学級・民話語り)	3	3	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができた。
23	飯野小学校	12.15	地域学習(6年・2学級・飯野町の歴史)	1	2	地域の歴史と産業について理解を深めることができた。
24	飯野小学校	1.11	昔遊び(1年・1学級・わらべ歌遊び)	1	1	昔遊びについての理解を深めることができた。
25	飯野小学校	2.8	民話学習(2年・1学級・民話練習)	3	3	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができた。
26	飯野小学校	2.1	民話学習(2年・1学級・民話練習)	3	3	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができた。
27	飯野小学校	2.15	地域学習(3年・1学級・つるし雛づくり)	5	5	地域の伝統についての理解と郷土愛を深めることができた。
28	飯野小学校	3.5	民話学習(2年・1学級・民話発表)	3	3	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができた。
29	飯野小学校	年間18回	読み聞かせ(1年、2年・2学級・本の読み聞かせ)	2	36	季節・行事に関連した本の読み聞かせにより、読書への関心を高めることができた。
30	飯野小学校	年間46回	学校支援(2年・6年・児童観察)	6	46	配慮を要する児童の観察・支援により他児童の落ち着いた学びを確保することができた。

2-(1) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート有

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	飯野小学校	9.8	小中合同奉仕作業(5年~6年・4学級・作業補助)	不明	不明	地域の環境保全について関心を高めることができた。
2	飯野中学校	9.8	小中合同奉仕作業(1年~2年・2学級・作業補助)	不明	不明	縦割りの班編成が効果的であった。

2-(2) 地域学校協働活動:地域本部(学習センター)のコーディネート無(学校独自で実施)

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	飯野小学校	5.24	地域学習(3年・1学級・飯野町探検)	1	1	地域の名所について関心を高めることができた。
2	飯野小学校	11.28	地域学習(3年・1学級・飯野町名所めぐり)	1	1	地域の名所について関心を高め、郷土愛を深めることができた。
3	飯野小学校	9.5	養蚕体験(4年・1学級・蚕様資料館見学)	2	2	養蚕業への理解と郷土の歴史に関する理解深めることができた。
4	飯野小学校	10.14	地域学習(全学年・全学級・地域フィールドワーク)	10	10	地域の名所、文化、産業、歴史等に関する理解と郷土愛を深めることができた。
5	飯野小学校	9.29	地域学習(6年・2学級・白山、和台遺跡等見学)	3	3	地域の名所について関心を高め、郷土愛を深めることができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評価
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○本事業を実施するにあたり、学習センターと各学校間で共通理解が図られ、要望のあった事業が予定どおり開催することができ、成果を収めることができた。  
 ○前年度の反省をもとに、担当教員との打合せを密に行い、担当ボランティアに周知徹底することでより有意義な活動にすることができた。  
 ○小学校からの要望で児童観察のためのボランティアを6名配置することができ、児童の授業理解を援助し、落ち着いた学習環境を整えることに役立った。  
 ●コーディネートの有無に関わらず、ボランティアの高齢化が進行しており、継続のためには後継者を育成したり、新たなボランティアを発掘したりすることが急がれる。また、人材不足という課題も存在する。  
 ※学校支援活動や地域学校協働活動の内容を見ると、伝統的・歴史的内容が多く、どれも大切な内容ではあるが、新しい時代に合わせた内容(例えば、ドローン体験やデジタル作画教室など)を取り入れて新たなボランティアの発掘とこれまでの内容を見直し、精選することも必要である。

5 活動、支援の様子



将棋教室:対局の様子



書きぞめ教室:指導を受ける児童



戦争体験:当時の教科書を見る児童



水墨画教室:先生のお手本を見る児童



交通教室:着ぐるみと一緒に横断歩道を渡る園児



写真教室:ピント、露出、構図を学ぶ中学生





福島市